THE WOMAN'S WEEKLY

第五卷 第廿七號

大正八年七月十一日發行 (每週金曜日發行)

大正四年十一月四日第三種郵便物認可

婦人週報

目次

□別れに臨みて……小橋三四子
□恩師先輩友人等より本誌に寄せられたる餞詞
▽婦人週報に餞す……高島平三郎
▽まだ見ぬ喜びに打ち笑まる……羽仁もと子
▽謄寫版時代の思ひ出……大村嘉代子
▽獨立の精神と實行の意志……澤田節蔵
▽小橋女史の海外行を餞して……比屋根安定
▽小橋女史を送る……松本雲舟
▽お別れに際して……吉川民子
▽大なる抱負の首途……三大寺本叔
□送別の樂に就て
□成業して歸る朝鮮の家族……記者
□禁酒後初めて靈の結婚をしたと告ぐる或る妻の手紙
□親自身を與へて教育せよ……石橋[illegible]三
□粉末鷄卵を使つた經驗と其の料理……手塚かね子
□ナオミ一葉の王様」……安与花子
□小説「北國の海より」……松平操子
□時事……編輯室より
□索引

定價一部五錢 郵税五厘

婦人週報社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

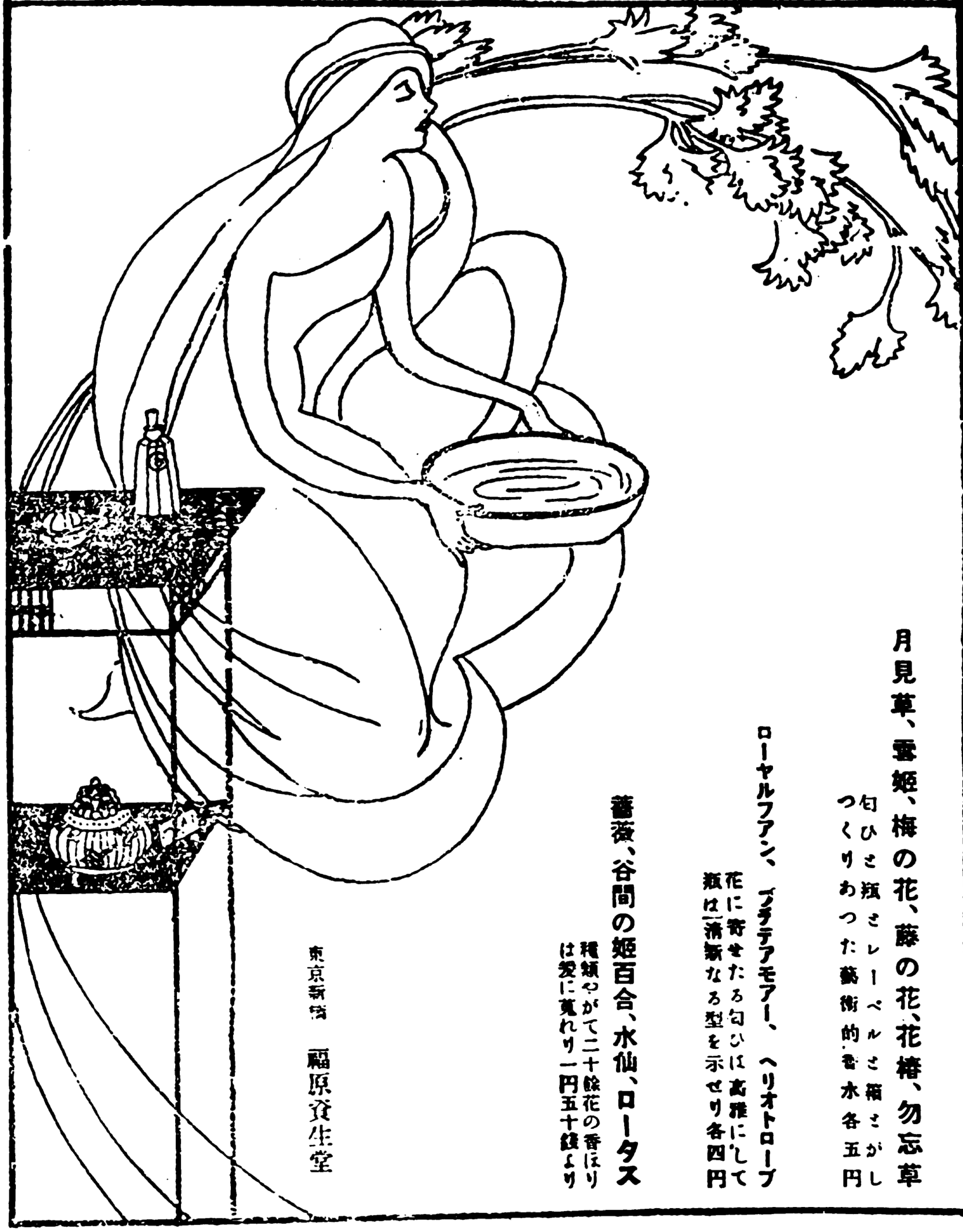
御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報に見てたる旨御記入を乞ふ

初夏と香水の季



月見草、雪姫、梅の花、藤の花、花椿、勿忘草
匂ひと瓶とレーベルと箱とがし
つくりあつた藝術的香水各五円

ローヤルファン、ブチテアモアー、ヘリオトロープ
花に寄せたる匂ひは高雅にして
瓶は清新なる型を示せり各四円

薔薇、谷間の姫百合、水仙、ロータス
種類やがて二十餘花の香ほり
は既に蒐れり一円五十錢より

東京新橋　福原資生堂

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

驚くべき

靈能を有する

トモヱ純人蔘劑

本劑の特色

本劑は純粹の朝鮮開城產人蔘を本社專任技師が最新學理的裝置を以て精製したる各醫學大家幷に各病院推奬の靈藥にして坊間有りふれたる人蔘劑に比し五倍以上の効力を有す故に一度本劑を服用すれば新陳代謝を旺盛にし食慾を進め精力を增進し頭腦を明晰にし內臟の諸機能を敏活ならしめ病後老後の衰弱、神經系統の諸症、胃腸病、肺病、心臟病、肋膜炎及婦人病一切に對し特効を有す、又健者强壯劑として用ふれば心身の疲勞を癒し老衰を防ぎ常に身體の强健を保持す。

◎送料不要註文即時發送　◎實驗報告書無代進呈

トモヱ人蔘腦　十日分金一圓二十錢・二十日分金二圓二十錢・三十日分三圓・五十日分五圓・百日分九圓

トモヱ人蔘錠　百錠入　金一圓・二百錠入　金二圓

東京麴町區三番町

朝鮮人蔘專賣　**朝鮮蔘藥合資會社**

電話番町二七一七番
振替東京四〇三三一番

出張所（仕入部）朝鮮京畿道開城

おやすみになる前、
お食事のあと、
外出帰りの時、
きつと
ライオン水歯磨で
うがひをなさいまし。

新時代の芳香含嗽料

ライオン水歯磨

東京市本所區外手町
ライオン歯磨 ライオン石鹸 本舗 株式會社 小林商店
支店 大阪市東區淡路町二丁目

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

別れに臨みて

▲家族のやうに親しんでいたゞいた讀者の皆樣と、この號限り暫しお別れしなければならないと思へば、自ら企てたこの海外行の恨めしくさへ思はれます。この大きな値を拂つても、なほ遠く行く私は、皆樣の幸福の爲めに、何物かを齎らして歸らねばならぬといふ責任をまた新たにせられました。そして何處如何なる地にあつても、本誌を通して結ばれたこの家族と、其の母國の祝福を先づ願ふでありませう。同時に皆樣が私の爲めに祈つて下さる赤誠は、何よりも力强い旅の守護とならうと思はれます。

▲新らしい文明は將に何處に生れんとしつゝあるのでありませう。案外爛熟した紐育や倫敦を遠く去つて、波蘭、白耳義の片陬の地に其の萠芽を見出すかも知れません。或は屈辱の境涯にある獨逸の反省と奮起とに、偉大な力が潜むかも知れませぬ。或は却つて燈臺の下の我が故國に優秀なものを持つて氣付かずに居るのかも知れませぬ。これは私のこの度の漫遊に於て、第一に探ね求めたいと思ふ處であり、從つて先々で行き度いと思ふ國が加へられるかも知れませんので、旅の豫定はなほつきかねて居ります。

▲何處の國の風光も、文藝、美術も、社會事業も興深きものでありませうが、私は何よりも人物に遇ひ度いのであります。偉大な人物が必ずしも顯要な地に置かれて居ないことはもとよりであり、從つてこれを見出すことは容易ならぬことでありませうが、もし眞に一人の偉人にでも遇ふことが出來たら、私は三年の旅の代償として、滿足するでありませう。それとも私のこの見解は、廣く世界を見て、匡される折があるかも知れませぬ。

▲この三年の間には、日本も定めし多くの變遷をするでありませう。私は今日本を去るに臨んで、三年の世界漫遊者が、我が母國を見失う迄、この國家の一新するやうにとさへ願はれます。單に世界の風潮に感染れた皮相の變化でなくて、根底から生みの苦しみを甞めて新らしくなる事を願つて止みませぬ。そして其處に、より高き我が同胞を見出すことは、何といふ望ましいことでありませう。

▲私は女なるが故に、我が日本婦人の將來に就いて、世界の立場から特に其の赴く所を明らかにする事が出來たならば、幸ひと思はれます。經驗に於ても、金錢に於て學德、才能に於ても、何一つ豊かならぬ私も、我が日本婦人を思ひ、その前途を憂ふる點に於ては、敢へて人後に落ちぬと信じます。そして私の小さい器なりに、最も善い犧牲を盛つて、進歩の祭壇に捧げたいと希つて居ります。

▲漫遊中の通信は婦人の友、東京日々新聞、報知新聞、及び十月から大阪に創刊される大正日々新聞紙上等に送るやうになつて居ります。今や一新の苦痛を甞むる我が同胞と共に、私も所をこそ異にはすれ、勤勉な日々を送つて、遠く微力を我が母國に捧げたいと希つて居ります。

さらば皆樣の御健康を祈つてお別れしませう。

（三四子）

* * * * * *

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

恩師先輩友人等の本誌に寄せられた餞詞

婦人週報に餞す

高島平三郎

過去數年の間我國唯一の單獨に婦人の經營に成れる週刊新聞として一種の氣品と特色を有して居つた吾が愛讀の婦人週報は小橋女史の洋行を機會に廢刊することゝなつた。古人は男子涙なきにあらず、別離の爲めに灑がずといふたが今多年愛讀の本紙と別るゝに臨み假令涙無きも又惜別の情無きを得ぬ。小橋女史が初より自己の力に信頼して自らこの新聞を創め自主獨立よくその言はんと欲する所を言ひ批評せんと欲する事を批評し我が婦人界の啓發に努力せられた事は實に敬服に堪へぬ次第である。蓋し婦人週報は女史の人格の表現である。週報が世に認められるやうになつたのはやがて女史の人格が世に認めらるるに至つた證據である。女史は實に過去數年の間毎週本紙を通じて自己の人格を數千の同性の心裏に投射して居たのである。私は本紙刊行の初より深く女史の健氣なる企に同情し絶えずその發展に注意し成功を祈つて居た。然るに本紙の調子が次第に高まり内容も整頓し世の信用も次第に加はるに至れるを見て竊かに吾が愛子の成長するが如くに喜んで居たのである。今突然その廢刊を聞くのは假令その理由が目出度いことであるにもせよ、眞に愛惜の情に堪へぬ。

併し女史の人格は洋行に由りてこれよります／＼發展し向上すべくその反映たる女史の文章も本紙ならで帝都の大新聞を通じて我が數十萬の讀者の眼に觸るゝことであらう。私は本紙數千の讀者と共に之を以てせめてもの慰としやうと思ふ。

從來我國の女子の仕事といへば大抵その背面に男子が隱れて居る。純粹に婦人の手に由りて成つて居るものは極めて少い。女史の母校から發行せられる家庭週報は固より婦人のみの手に由つて成つて居るであらうがこれは櫻楓會の機關紙であつて之を助ける人も多くある。併し本紙は眞に單獨に小橋女史一人の經營に成つて居たといふことは我が婦人界の一の誇といはねばならぬ。私はこの意味に於て特に本紙を尊重し愛護して居つたのである。女史は數年の後歸朝して如何なる業務に從事せられるかは私の知らぬ所であるが願くは歐米に於て得たる經驗と智識と信念に由りて再び本紙の後身たるべきものを發行して長く我が婦人界に寄與することに努められたきものである。本紙を餞するは女史を餞する所以である。私は本紙が廢刊せられても眞にそれが世界から無くなるものでは無いやうに女史に別れてもそれが又大なる喜びを以て相逢ふの日を待つ爲めであることを思うて自ら慰める。女史乞ふ風土の異れる米雨歐煙に身を厭ひ健全にしてその使命を全うして歸られんことを。之を以て本紙に別れを告ぐると共に女史に餞する。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

また見ぬ喜びに打ち笑まる

羽仁もと子

この號きりで、婦人週報を見ることが出來ないのだと思ふと、物足らない氣がします。併しそれは小橋さんが、記者としての内容を一層充實させるために、四年の間一心に育くみそだてた仕事もすてゝ海外においでになるためだと思ふと、私はさきに小橋さんが家庭週報の記者をおやめになつたことを聞いて惜んだ後、暫くして、讀賣新聞婦人欄の主任として、更に新しい小橋さんを見出し、婦人欄をおやめになつた時に、婦人週報が生れたことを思ひ出します。婦人週報を見ることが出來なくなつて三年後に、私たちは、更によりよき勞作の上に小橋さんを見出し得ることを信じて、まだ見ぬ喜びにうち笑まれます。海外滯在中の通信を婦人之友誌上に見ることが出來るのも私の大いなる喜びです。東京日々新聞報知新聞などでも拜見することが出來ませう。私たちが皆行つて見たいと思つてゐる、今日の亞米利加また歐羅巴に、皆の代りにも行つて下さいませ。身輕な小橋さんの羨しさかしまたちよ。よき御航海を心から祈ります。

謄寫版時代の思ひ出

大村嘉代子

藁半紙を十枚ほどとぢた謄寫版の週間新聞主筆の小橋さんは、巻頭の論説にいつも筆を執られて、私達はよくその時分に流行つた新體詩などをその文苑欄にのせた。さうした新聞が女子大學の私達の級に撒かれてから、もう十七年の月日がたつ。

十七年の間小橋さんは新聞といふ事以外に眼をそらさない。週報を雜誌にせよといふ註文も方々からあつたらしい。もつと平易に俗受けをねらへといふ忠告も受取られたらしい。けれど、小橋さんはいつも自身の主義を些とも曲げられなかつた。十七年の間眞率な婦人の爲の新聞に努力して居られた。これから後の月日にも恐らく小橋さんは同じ道を行かるゝに相違ない。私達は小橋さんの手で、女達の爲につくられる日刊新聞の出來る日を待つて居る。書きたい事は澤山にあつても萬感胸をつくといふ有樣で何にも書く事が出來ない。たゞ小橋さんの漫遊を祝し、健康を祈つて筆をおく。

讀者から

御誌の中止を承りて

堺　岡村ひで子

蟻が甘い物にありついた樣に、私は御誌にありついた事を、ごんなにか嬉しく思ふて居りましたのに、突然次號より御發行御中止の事を承りまして、ほんさに悲しい事に存じます。ごうかして御中止なく御發行願ひ度く存じますが、歐米御視察の爲めさか、私等は喜ばなければならないさ存じます。ごうぞ御身たおいさひ下さいませ。御歸朝の曉な千秋の思ひで待つて居ります。(下略)

同前

群馬　星野しま子

(前略) 本週の御誌も取る手をそしさ拜見いたしました處、思ひがけなく一時中止の記事を見出し、嬉しいのか、悲しいのか、解らぬ涙を浮へた事でございました。全く〳〵先生の御渡米は、喜んでも〳〵限りなき事ながら、又今迄無二の友ごら思つて居りました御誌に別れ、其の上三年間も先生さ遠くお別れ致すのかさ存じますさ、ごうしても胸ふさがらずには居られません。今迄何かにつけ御心配いたゞき、御勵ましいたゞきました事共、心の奥に銘じて、深く〳〵感謝いたして居ります。……先生どうぞいつまでも小さな讀者の爲にお祈り下さいまし。三年の間御身お健やかに、重大なる目的を果させられ、再び樂しく御目にかゝる日を信じて居ります。

七

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

獨立の精神と實行の意志

薄田斬雲

◎他に依頼する心ある者は到底満足な人間になれません、今日日本の婦人の病弊は此の依頼心に在る、即ち獨立の精神がない事です。「どうにかなるだらう、」「まさかそんな危険はあるまい」「誰れかゞどうにかして呉れるだらう」などいふ女の信條は、婦人を奴隷にし低能にし、弱者にして了つたのです。

◎早い例を取れば、物價騰貴生活難が迫る場合、中産階級の二夫人の會話に「斯う物が高くては堪りません、ま、買はない事です」と。消極的態度も、沈默主義も、此に至つて極まれりと言つたものです。勿論此の會話は不用意の間に出る一場の言ひ草ですが、當今日本婦人一般の氣風を能く現はして居ます。買はずに居る事は食はずに居る事で、生活の否定です。苦しくなつても、自ら起つて當面の難題を解決しやうといふ精神がありません。凡てが人頼み、他に依頼する一點張りです。今日婦人問題の根本は此の依頼心を除去して、萬事自ら主動者となる獨立精神を養ふ事です。此の精神さへ出來れば、其他の婦人問題は自づと解決されます。同時に實行の意志も自づと出て來ます。

◎小橋さんの、獨立の精神と實行の意志を體現した婦人週報が一時發刊中止となる事は甚だ殘念な次第ながら、止むを得ない事です。此の雜誌は樣々な獻立てゞ賣る勸工場でなく、小橋さんの意氣で賣つた雜誌である以上、人を代へて雜誌を繼續する事は不可能です。宣傳運動は賣物ではないのです。三四年後には小橋さんが歸つて來られて、倍舊の宣傳活動を再始するでせう。日本の若手婦人界に唯一の獨立實行家たる小橋さんが、獨立實行の本場たる米國へ渡つて、一層その磨きをかける事は私の最も希望する處です。今日の日本は調査病、考慮病に罹つて、半死の狀態です。幾ら考へたとて人生の進路は自ら開けるものでなく、一歩一歩進むに從つて通路が出來るものです。

◎猿眞似の好きな日本人は昔、支那の眞似をした樣に、今では只管、歐米の眞似をしたいのです。私は、眞の德性の根本に於ては、日本人位立派な國民は世界に無い事を堅く信じて居ますが、長い間の鎖國の爲め日本人も世界の大勢に後れて、今や一等國を踏み外しそうになつて居ます。そこで何んでも範を歐米に仰ぐ事となる、先覺者、指導者たらんとする者は、一巡り歐米を見て來なくては、承知しない、此意味からして私は小橋さんの歐米行きを大變好い事と見るのです。堅實な質素へハイカラな磨きを掛けて歸つて來られた時、申分のない新代の指導者が出來上る事と信ずるのです。

◎婦人問題を解決するのは婦人自らの力に俟たなければならぬ事と思ひます。偶然何等かの便宜で西洋を漫然と見物して來たり、又は漫然たる西洋かぶれで遊學したり、又は外交官夫人として長く外國に留まつた樣な婦人には多くは期待されぬが、已に、長い間の記者生活で、日本の病弊を深刻に感じた小橋さんが、多年の計畫を愈よ實行して西洋に赴くといふ事は、大いに得る處あるに相違なく、他日眞に我が婦人問題の解決を得べき素地が造られる事と思ふのです。好い加減なお世辭的の言論や、上品めいた思ひやりや、舊

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

式の說教などを誇りとするクラシックな婦人達と、一方には其日暮しの自然主義で畜生道に走る新しい女以外に、日本には眞に新しく、眞に達識あり、強固な意志ある婦人が必要です。此點に於て小橋さんが前途多望なる事は言ふを要しないのです。立派に一見識を有して比較批評の眼を以て、迷はされずして歐米を觀察して歸られるといふ事は、小橋さんの爲めにも日本婦人界の爲めにも幸福です。

＊＊　＊＊

小橋女史の海外行を餞して

比屋根安定

氏は青山學院神學部を出で後帝國大學に神學の研究を積まれて居られる篤志の方です。メソヂストの機關として毎週發行さるゝ『護教』の編輯者として、澎湃たる筆に毎號紙上を賑はして居られます。

小橋さん、と呼ぶ時も數年後でなければ來なく成りました。校正日が同じといふ縁から一週一度凡そ二年間、私は木曜日毎にあなたに遇ひました。何事にも自己の見解を以て語つた聲、暇さへあれば讀書に餘念ない姿は、我の無い怠ける婦人を極端に憎惡する私に、あなたは深い親しみを與へて下さいました。其の親しみがあなたの世界を顯した爲め私をして尊敬させ、遂に此の筆をさへ執らせました。過日あなたから海外行の計畫を承つた時、私は當然きたるべき好機會が臨んだ事を欣び、心から祝賀しました。殊にあなたが基督信徒を標榜して赴くため意外の犠牲を拂ひ、見す見す折角の便宜を棄てて顧みなかつた事は（其れを公に書かれる事を厭ふでせうが）私に非常な印象を刻みました。私は一種悲壯な感激をもて、進んで荊棘の道を選んだあなたに、神の祝福あれと禱らずには居られません。然し私は謂はゆる洋行を別に偉い事とは思つて居ません。寧ろ彼ら洋行歸りの爲めに他の世界は兎に角も日本基督教界が如何に墮落したかと憤慨する者です。洋行歸りの多數は、私をして洋行を呪はしめました。然し要は洋行といふ事でなく、洋行する人の如何にあるは言を俟ちません。私の餞の文は、勿論洋行する人があなたであればこそ送るのです、貧乏な私は、あなたに何も贈る物がありません。私の平凡な感想を述べる事を許して下さい。

一は、あなたと婦人週報に就てです。あなたが獨力で經營した週報は、思へば隨分えらい大きな營作でした。俗衆に媚びて賣れる婦人雜誌の間に、あなたが眞正直な思ひ切つた主張を續けて來た事は、其れ丈けで既に立派な健闘でした。恐らく之は誰でも認める所でせう。今度の海外行は、あなたの轉機であると共に週報の改造の因であります。世界全部が新生しようと藻掻く時、あなたと其の仕事とが同じく世界の新潮に棹した事は、何といふ意味の深い海外行でせう。米國では主として新聞學を研究せらるる由、休刊後の週報の將來を充分に想はせて、何より結構です。此の未曾有の時代には、週報を其のまま續けるよりも一時休刊してあなたの研究や見聞を増して他日を期す方が、優りはせぬかと私も考へます。表面は賑かで内容の行き詰つた我が國の婦人雜誌は、今や根本より改造されねば成りません、私はあなたが多くの犠牲を拂つて、他の雜誌に率先して新生に向はれた快擧を祝ふと共に、廣い意味での日本の讀者のために心強く思ふ一人です。ノアの箱船から出た鳩は、橄欖の若葉を嘴んで歸りました。私は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

多くの讀者と共に、數年後にあなたの持ち歸るものの何であるかを樂しみに待ち望みませう。

二は、あなたの海外行の順序に就てです。私は、あなたが米國に留らないで歐洲大陸にも巡歷する計畫あるを、心から喜んで居ます。大陸が今回の大戰の策源地であつた丈け、同時に將來の世界改造の中心點である事は、私などが申す迄もありません。ノアの洪水の後に虹が出たと傳へますが、世界動亂後の歐洲の空を彩る虹の麗しさは、何んなにあなたの見聞を豐にする事でせう。今までのあなたの主張を確實にする事實や、今後あなたが盛に高調すべき問題は、さぞ夥しい事でせう。私たちは日常生活に於て、米國文明とは割合に親しんだが、歐洲文明とは思ひのほか距離があります。其の歐洲文明が血と火と煙りとの洗禮を受け、五年間の激しい陣痛の後に生み出すものは、必らずや私たちにとり米國文明よりも價値あるものに違ひありません。私が何よりも注意する宗敎問題、あなたが研究する婦人及び其他の諸問題は、今度の動亂を母胎として、世界改造の基調を奏するでせう。私は其の活動を眼前に見るあなたの幸福を羨望し、且つたの使命の重大なるため切に自重を祈つて已みません。新しき天と新しき地との幻想は、ヨハネをして默示錄を誌させました。知らず、新天新地の現實はあなたをして何を思はせ何を書かせ何を獲しめるでせう。

三は、あなたの歸朝後の日本です。眼まぐるしい渦流中にある我が國は、三四年後あなたが祖國の土を踏む頃には、今から想像できぬ程の急激な變化をして居ると思ひます。恐らく二千年來うちに押へて置いたものが其の頃一度に爆發するだらうと、實生活と思想との眼醒ましき革新を想はずには居られません。隨つて新歸朝者であるあなたの眼には、我が日本の凡てが面目一新すると共に特に婦人問題が激くし主張せられ且つそれが實行されるのが必ず映ずるでせう。同時に、諸相は愈よ紛糾を重ね民衆は益々混惑する事も、否まれません。其のをり民衆の翹望するものは、見識の寬い且つ信念の確りした指導者であります。民主思想の惡弊は、往々にして衆愚を煽動して少數の指導者を拒み易い所にあります。將來わが國の婦人界は愈よ領域を擴げるでせう、また其れが當然であります。然し同時に婦人運動の中心點は漸く鮮かに定まつて來なければ成りますまい。即ち民衆の遠心力と少數指導者の求心力とが平衡して、初めて健全な確實な婦人の社會が築かれると、私は思ひます。之れ以上さらに申さずとも、將來あなたの執るべき態度はお解りでせう。私はあなたが自愛自重して、將來の婦人らの希望に副ふやうにと禱らずには居られません。

紙面限りあり、私は筆を擱かねばなりません。妻は、あなたを心の底から敬慕して居ます。彼女は專ら宗敎といふ方面から、あなたの後に從うて婦人界の開拓に當らうと努力して居ます。彼女はあなたの負はるる數々の重荷に對し眞實御同情する旨、呉々も申しました。私たちも様々の苦難と戰ひながら、勉強して居ます。あなたが歸朝して再び婦人週報を出す頃には、及ばずながらお手傳ひできる位に成ればよいがと、折々話し合ひます。海外行中どんな所に居らつしやる時にも、あなたの上に祝福を禱る貧しい弱い私どもの居る事を、何うぞ忘れないで下さい。神、あなたを祝福し給はん。さよなら。

＊＊
＊＊
＊＊
＊＊

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小橋女史を送る

松本雲舟

■小橋さん、あなたが社會研究のため、歐米漫遊の途に上らるゝと聽いて、ほんとに歡ばしく思ひました。暇の絡環繰返へす週刊雜誌の多忙の中に、足掛五年間婦人界のために健闘されたあなたに先づ第一に必要なのは休養でせう。日本婦人として最良の體格を有せらるゝあなたに休養を說くのは可笑しく想はれますが、一雜誌の經營といふよだけに、あなたの全力を注いでもらふとは、我婦人界の人物經濟の上から甚だしい損失のやうに想はれるので、休養に依つて將來の發展を謀つていたゞきたく想ふのです。

■東京女子大學が新聞研究科の講座を設置するに先立ちてあなたへ歐米新聞界の研究を囑托されたとは、極めて人を知るの明があると想はれます。日本の新聞紙で、婦人記者を使用し始めたのは余程以前からの事でせうが、實をいへば、まだ婦人記者の領土は尠しも開拓されてゐません。社會部の一員として、命ぜられる儘に、婦人に關係する記事を書くだけである。使ふ方では、別に婦人記者でなければならぬといふ用事はないが、萬綠叢中に紅一點あつた方が、編輯室の裝飾としても善いといふ位のものでせう。婦人記者自身も、別に大きな抱負があるのでなく、文筆の好きな婦人が生活のために働くといふだけで、新聞記者として成功しやうとか、新聞を利用して婦人界のために盡さうとかいふ考を持つてゐる者は極めて少數のやうです。

■斯る狀態の中に在つて、あなたの新聞雜誌の經驗は極めて基礎の深いものでした。日本女子大學の機關「家庭週報」の主任として「女子青年界」や「新女界」の編輯者として、二十代の年若の時から男まさりの手腕を示し、讀賣新聞で婦人のために一頁を割いて「婦人附錄」を新設するや、其の主任者として、婦人のために強い主張と勇しい奮闘振を示されたとは、識者の今も記憶する所です。此「婦人週報」は其の奮闘の連續でありますが、あなたには唯文章を物するといふ以上に、新聞や雜誌を編輯することに大なる伎倆あり、又一つの事業を經營するに必要なる敏活と執着――其れは日本婦人には稀に見る所のものですが――あなたにはさういふ事業經營の才能が豐かであることを認めざるを得ません。

■日本婦人の向上のために一生を捧げんとするあなたの意氣、婦人記者としての永い經驗、男まさりの事業經營振り、かういふ特徴はあなたに於て始めて見る所であります。東京女子大學があなたを起用せんとするのは、即ち此等の特徴を認めたからでありませうが、今後海外に於ける滿三年の修養と見聞はあなたの此特徴を益々發揮せしめるだらうと想はれます。

■「婦人週報」におけるあなたの足掛五年の健闘は決して徒爾ではありませんでした。あなたの讀者として數千の婦人に向上の火を燃されたことは必らず善い果を結ぶとさせう。あなたが其の最も精神的に親しい數千の婦人諸君と暫くでも別れられるとも、甚だ辛いとでせう、讀者諸君も今に於て突然あなたに別れるとは、さぞ寂しく感ぜられる事だらうと想ひます。けれどあなたが滿三年後無事歸朝せら

十一

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

れて、見識も抱負も更に大なる光彩を放たれる時にこれを喜ぶのは、唯友人といふ私情ばかりからでなく、日本の婦人界のためにどれほど力強い事であるか知れません。あなたの讀者は樂しき心待を以て、あなたの歸朝の日を數へるでありませう。

お別れに際して

吉川民子

私は智識階級の御婦人に多くの知己を持つて居ます、又或仕事のために多數の名流婦人にもお目にかゝりました。先方の御人格等に對してこちらの期待があまり多過ぎるためでもありませう、又世のもてはやし方が其人の眞價とあまりかけはなれて居る場合もあるからでせうか、私はいつも〳〵一種の物足りなさと或時は厭しささへ感じさせられて居ました。

先年或用件について、始めて小橋さんにお目にかゝりました、不思議にも此時に限つていつも味ふやうな不滿は聊かもなく、何とも言へぬ嬉しさを感じました。婦人には珍らしい確かりとした見識の一面には、何事にも同情と理解をもつて居られる鷹揚な美しい御心情を印象せられてより、こゝに四ヶ年間公事にも私事にも、事柄の起る度に私は眞つ先きに行て、御相談をしました。小橋さんは其度に滿足な解決と相當な努力とを與へて下さいました。又或時は宗教の信仰を語り、或時は教育を談じ、時事百般の雜談に至るまで、互に胸襟をひらいて相語るうちには、他の人の場合にはどうしても味ふことの出來ない愉快と共鳴を感じます。

私の夫が食糧研究を始めて二十年「植物ミルクフード」がまだ研究時代にある時、大抵の發明家や研究家の嘗むる辛酸を悉く味はつて、殆んど忍耐の絕えんとする時、小橋さんは此事の國家公共に貢獻する事の多き事、將來必ず成功の見込ある事を說き、之に伴ふ救助と努力とを與へて勵まして下さいました。此事業が今の場合に發達したについては、小橋さんに負ふところは實に多いので御座います。かくの如くこの數年眞の敬愛する益友を得て、私は實に悅んで居つたのであります。たとへ二三年たりともお別れしなければならぬやうになりました私の心のさみしさ、かなしさは、どのやうでありませう。しかしそんなことは私の小事です。小橋さんの今度の行は、眞の日本婦人を代表して下さる上に於て、又將來我婦人界に貢獻して下さる上に於て、尚此上にも御自分を磨き上げて其使命を十分に盡さるゝ上に於て、此上なき慶賀すべき事であります。熱心に御祝福を祈つて、目出度御歸朝の日をお待ちして居ります。

大なる抱負の首途

三大寺本紹

小橋さん、貴女が數年前、讀賣新聞記者として、其の婦人欄に、權威ある言論を公けにされたことや、又其後獨力にて「婦人週報」を發刊し、今日に至るまで、近代婦人の思想界、精神界に貢獻された多大の功績は、敢て私が喋々しないでも、世既に定評のあることと思ひます。然るに貴女は、猶一層深く强く此の活社會に處して、身自から婦人問題の解決に當らんとの大なる抱負の爲め、近く歐米漫遊の途に上られる由を聞いて、私は非常に貴女の志の壯なるに、今更乍ら畏敬の念を禁じ得

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ません。今や我が日本の婦人界は、雑然、混沌として、唯徒らに流動してゐるに過ぎない有様で、殆んど頼みにならない様に感じます。御覧なさい歐米の知識は、日に月に歡迎されては居ますもの、、而も其の知識は一面に消化されてゐないではありませんか。

婦女の學問藝術は、多少向上の機運に進みつゝあるやうですが、之れと同時に、虚榮を外にしては、天下又婦女なきが如き觀を呈してゐるではありませんか。

ダイヤモンドを燦め、自動車に乘りて抑も何處に赴かうとするのでせう、劇場か、園遊會か嗚呼遊樂を外にして、婦女に又希望は無いのでせうか。

小橋さん、貴女が今愛すべき故國の山水を後にして、遠く歐米の天地に、三年間の研鑽を積まんとの御計畫は、確かに此等逸樂を常とする浮薄女子を覺醒せしむるだけの力があります。

貴女の前途は洋々たる春海の如き希望に輝いて居ますが、其の道程には、無困難も多いことでせう。幸に自重自愛を是れ祈ります。左様なら。

送別の樂

小橋三四子女史送別の爲め

一、七月二十七日午後六時半開催。雨天順延

一、會場　鶴見花月園

一、會費　金參圓

當日は早くお出で下されて園内を御逍遙下されても差支へなく候

出目

I　二部合唱

夜の歌……ベルリオーズ作

長坂よし子孃
鈴木のぶ子孃

II　ピアノセロ合奏

ソナタI、ムーブメント……ニコデ作

ウエルクマイステル教授
パウロウスキー氏

III　アルト獨唱

a　子守唄……ブラーム作

b　汝が碧き眼をひらけ……マスネ作

c　君の歌に眠らしめよ……グリーン作

鈴木のぶ子孃

IV　ピアノ獨奏

愛の夢……リスト作

パウロウスキー氏

V　ソプラノ獨唱

a　歌劇「ウキリアムテル」中のロマンス……ロシニ作

b　夜の調べ……グーノー作

長坂よし子孃

VI　セロ獨奏

a　アンダンテ……セルヴェ作

b　ガボット……ポッペル作

ウエルクマイステル教授

發起人（アルハベット順）

麻生正藏　福島四郎
藤井かう子　鳩山春子
服部他助　羽仁もと子
廣瀬艶香子　市川源三
井上秀子　石川靜子
嘉悦孝子　神谷信子
加藤さめ子　男爵夫人目賀田逸子
三輪田元道　宮田脩
三宅龍子　三谷民子
三角錫子　松本雲舟
守屋東子　村松石子
大澤豐子　大村嘉代子
櫻井ちか子　鈴木のぶ子
高島平三郎　竹中繁子
田中芳子　矢島楫子
山脇房子　吉岡彌生子
安井哲子　吉川民子
柳八重子

和洋樂器販賣及修繕
和洋樂譜類尺八製造
金銀輪及千切一式製作
ピアノ。オルガン。
ヴワイオリン。
マンドリン
其他樂器確實修繕
内藤樂器店
調律師 内藤常吉
東京市麴町區麴町九丁目十四番地

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

成業して歸る
朝鮮の家族
一兒は東京さんと呼ぶ

生れにし鷄林の都京城さして歸らんとする、韓明淑夫人(廿三)は、今年の四月生れた男兒東京さんを抱いて、しとやかな語調で語るのであつた。

『いゝえ、もう何のお話も私には出來や致しません……こちらは隨分賑やかで景色もよくて結構です。私は一昨年參つたのですけれど、夫の萬熙(廿四)はづつと以前からこちらに來て學校に入つて居りました。神田の專修大學です。滯在中は目賀田男爵夫人に息子息女のやうなお世話をいたゞきました。もう卒業致しましたので、明後日歸國しやうといふのです……私ですから家に許り居りました。始めの中は巣鴨の方の晩香女塾で袋物と裁縫割烹等を習ひましたが、何にも出來やしません……』

と謙讓なほゝゑみが微かにゆらぐ。

久しぶりに顏を雲間に現はした太陽は、庭に掛かつたいくつもの朝鮮服を美しく照らして居る。固く結はかれた行李がいくつとなく、お玄關を滿たして居る。莚や菰が所せまくちらばつて居るのさへ何となく心せはしい。遠く内地の都に學ぶ若い夫婦を、偲び待つ父母のおもかげ、まだ見ぬ孫のいかばかり待たるゝ事であらう。お太鼓の帶も、胸の邊りに描かれた柔い線も、すべて内地の婦人と異らない。そのやさしい言葉づかひさへ、なつかしまるる夫人は、何やら大聲の朝鮮語で、奧に居る白服の婦人に語りかけた、『電話をかけて萬熙を呼びませう……』記者を見やりながら夫人は云つた。何やかや忙しい中をそんなに迷惑をおかけしてはすまないからと、固く辭退して、ふと床の上を見ればそこにはきれいな布に包まれた琴が一面たてかけてあるのに氣がついた。

韓萬熙氏と夫人及び愛兒

『エ、私が習ひましたのです……山田です……でも何にも彈けやしません。音樂は好きですけれどむづかしいものです。』夫人はたゞ謙遜のみに凡てを沒してしまふ。

東京さんは大きな目をくりくりさせて、母さんの膝の上からこちらを見詰めて居る。辨慶縞の筒袖の中から、白い小さな握りこぶしをもがきながら、足をばたばたさせる、『お腹をわるくしましたので瘠せてしまひました』といふ母さんの言葉の通り赤ちやんのどこにもふつくりとした線は見出されなかつた。『旅をしても大丈夫だといふお醫者様の證明がありましたので、今

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

度立つ事を定めましたのです」といふ母らしい言葉がしんみりとしてひゞく。京城に歸つてからの生活――それはまだ未定ですとのみ、夫人は多くを語らなかつた。

朝鮮唯一の高貴の女子教育機關淑明高等女學校の出身である夫人は、自ら明快な立派な態度を備へて居た。

禁酒後初めて 靈の結婚を

したと告ぐる或る妻の手紙

＊＊

私をして神の前に目を開かせて下つたH樣、私の理想郷クリスチャンホームに到達させて下さつたH樣、私は今惡夢から離脱した、世にも幸福なる神の子でございます。私は今それを感じ感謝すると同時に、これまでお導き下つたあなた樣に對し、私が理想郷に達するまでの苦しかつた過去をお話申上げたいと存じます。

それはいつの頃でございましたでせう。お茶の水の樂しい生活から始めて人妻といふ新しい生涯に入つた頃、盲目に小鳩の樣にたゞ從ひたゞほゝえむ夢の中に渡り得ぬ私を發見した時に私はどんなに怖れ且つ苦しんだ事でせう。母といふ尊い名をさづけられた時、恰度私共は、ある南の國の某局長として、外面いかにも幸福な家庭の主婦でございました。若い法學士のきゝれてとして、社會的に尊敬されて居た私の夫は、家庭に於てもやさしい父と夫とでございました。たゞ一つお酒を飲んだ時にのみ、私の心に暗みがとざすのでした。重大な職務の要件も、いかがはしい女と酒との席に於てのみ解決されると定められてある社會の裏面が、普通として誰人にも許されて居る今日。

＊＊

H樣――でも私はあなたに依つて新しい心の芽がめぐまれてあつた當時、幸か不幸かのろはしい煩悶に捕へられたのでございます。それから間もなく私があなた樣に、あの樣な弱い心のお手紙を書きましたのも、次の樣な事柄に遭遇した事に依つてでした。

それはある日の事でした。赴任當時、會社の重役が私共の宅を訪れて下さいました。そして私共の宅に於て宴席を開かうと主張されたのでした。私はどんなに心に祈つたでせう、子供の前で醉ひしれた父の狂態を示さねばならぬかと思へば、私はぢつとしても居られませんでしたけれども私の祈りは無駄でした。酒は出る盃は交はされる、此上はと決心した私は、其席の明るさを保たん爲めに、私は日頃生家で習ひ覺えた皷までも取り出して興を添へるのに熱中致しました。然し又しても其甲斐もなく、最後の口が切られたのでございます。三人の藝妓が嬌態を作つて、聖かれと願ふた私の住宅へ入つて參つたのです。美しい姉さんよとばかり、子等は走り出たでせう、父親の醉態をおかしがる我が子の樣が何として眺められませう。私はぢつと一室に閉ぢこもつたなり、姿を見せまいと致しました。何も知らぬ重役は「奥樣が顏を出さなければかくし藝はしない」と意地張つて居るのでした。こんな時、小さな私の信仰はいらいらとして、とめどもない涙さへ流れるのでした。清い柔い私の三人の子供、其の心に一點の曇りでも與へたならば、親として

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

私はどうしたならば可いのでせう。私は其夜あなたにあゝした手紙を書いたのでございます。

＊＊

神の試煉のなほ强かれと、あなたは勵まして下さいました。火に堪へ水に偲び、結婚後八年目、私は眞に靈の結婚を致しましたのでございます。温い理解のもとに夫がクリスチャンとしての新生涯に入つたのは、日比谷の大神宮の前に、夫婦の契ひを立てゝ以來八年目のある日でした。それ以來いかなる席上に於ても、夫は盃を手にさへ致しません。只今五人の子等は嬉々として聖い家庭にはぐくまれて居ります。

斯樣な私共の家庭の芽を蒔いて下つたあなた樣の上に、幸あれといのりて筆を擱く次第でございます。

＊　＊　＊　＊　＊

親自身を與へて教育せよ

女高師附屬幼稚園主任　倉橋惣三

□教育は最も自然な事

近來の世人は兒童の教育と云ふ事に對しては實に熱心であるが堅くなり過る感があります。大家、專門家の學說を、種々研究するのでなければ、兒童教育は完成されぬと考へられて居る狀態であります。元來教育の根底に就いて考へて見れば、教育は自然のものであります。人間と人間との間に行はるゝ日常生活が總て教育の根底であるのです。心理學を學び、哲學を學び或は特別に何か機關が施設せられなければ教育の目的が完成せられぬと云ふ事は、必しもないのであります。教育は人間の爲す仕事の中で、最も簡單な、而も一番自然な事であります。商業に於て成功し、戰に於て必勝を期するならば其處に幾多の苦心と研究方法と資本とを要するのでありますが、今日の文明世界に資本、研究なく、特別の施設もなく、裸一貫にて相當の効果を擧げ得らるゝものは教育のみであります。

□學校教育は不自然

教育にも學校教育に於ては種々の苦心と方法を要するので、比較的困難が多いのであります。何故なれば入學するその瞬間まで何等自己との關係もなく、從つて一面識もなかつた人の子を一片の師たり弟たるの關係に依つてそこに責任を感じ、或程度まで効果をあげねばならぬのであります。天地萬物の總てが自然の惠みを享ける春の光を他所にして、一室に閉ぢ込めて、或は先生より犬を欲する子供達を止めて、定められた過程を無理にも授けねばならず、又授けられねばならぬのであります。先生とても亦己が實生活を離れて教育と云ふ特別なる生活に入るのであります。その不自然なことは免かれ得ぬのであります。學校教育は人の子を集めて經濟的に教育すると云ふ意味から出來て居るのですから、不自然を免かれぬので、茲に偉い先生を精選する必要もあり、又特別なる施設をも要するのであります。之れに反して家庭教育は實に何から何まで自然であります。變則な家庭に非ざる限り、他人が來て教育するのでなく、父母、祖父母、兄姉と云ふ自然的關係の環境の中に生活し育まるゝのであります。家庭内に於ては學校に於けるやうに、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

母が一日は子のために提供すると云ふ事はない、あたりまへの生活を營んで居るのであります。そのあたりまへの家庭生活夫自身に教育的意義があり、教育的價値があるのであります。親子と云ふ自然的關係は、教育の價値を無限に有して居るのであります。

口親子といふ關係

教育なるものに於ては教育者の絶對的價値に重きを置くと、即ち眞實であらねばならぬと云ふ事を論ずるのではなくて、相對的關係にその價値があるのであります。被教育者との關係が何處にあるか、被教育者との關係がどんなであるかと云ふ事が最も大切な問題であります。人間は元來、人間を求むるのであつて、その人が如何なる人であるかと云ふ事には、除り關係がないのであります。近來は著しく人の絶對價値に重きを置き、己れと親しく結び付いて居ると云ふ事が忘れられて居ります。文明と共に家庭教育の輪廓は立派になつたが眞實に於ての内容が貧しい恨みがあります。

口子供は親を求める

學校教育は人間的接觸を教へ行ふのでありますが、兎もすれば教科の爲めに人間的接觸が妨げられます。家庭に於ては子は親を求め、親は亦裸のまゝの夫自身を與ふるので、その間一枚の雑をもはさまるを欲せぬのであります。是れが家庭教育の特色であつて、之れを充實させねばなりませぬ。例へば子供がお父様にお話を要求したとする。その時父は直に話の材料を如何に選ばんか、如何に巧みに話さんかと云ふ事に腐心するのであります。その結果として私は話が下手だから、隣の小父さんにお聞きなさいとか或は今日は幸ひに何館にお伽譚の上手な先生のお話しがあるから、其處へ行つて聞いたらよからう、と答へる、その時の子供の心中を解剖して見たならば、つまらない話でもよいからお父様から聞かして欲しい、いつもの話でもよいから母様にしていたゞき度いと叫んで居るでありませう。子供は一體何を求むるか、實は話でなく親を求むるのである、子供は貴方を被下いと云ふ代りに、話しや遊戯と一緒に我親を求むるのであります。この人間そのものを求むる心持ちは、極く微かなものではありますが、人を求むる子に人間を與ふる事に依り、如何に大なる滿足を得しめ、同時に教育が行はれるかは想像に餘りあることであります。子供は玩具によつて教育せらるゝのではありませぬ、人間によつて教育せらるゝのであります。世人は己と子供との間にはさまつて居る物に注意をはらひ過ぎ、意識し過るのであります。唯親なるが故に、教育が出來得るので、何等技能はなくともよいのであります。兒童教育にあらゆる原則を應用して行つて居る家庭に、應々不良兒のあらはるゝのを見るが、之れは親と子との間にはさまれて居る手段にのみ沒頭して、己れを與ふる事に缺けて居ることに原因するのであります。斯くして育て上られた子供は、成長して人間性を失ふに至るのであります。

口近來の教育上の缺陷

今日の教育は長足の進歩でありますが人間と人間との間にはさまつて居る材料管理法、施設の進歩であつて人間對人間の眞實は缺けて來たのであります。學校の制度は勝つて、人間的接觸が減じて來たのであります。この場合せめて家庭に於て、人間對人間の接觸による教養を大に進めたいのであります。生活中親より受取る人間的生活を與へ、自然的教育を與へたいのであります。世の進歩に伴つて種々研究も積まるゝのでありますが、最も自然なるものゝ意義を忘れられた象であります。父も母も眞實に働くその生活に於て、眞の理想的家庭教育を見るのであります。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

粉末鷄卵を使った經驗と其の料理

手塚かね子

粉末鷄卵は近來市井に於ても盛んに販賣いたして居る樣でございますが、今度自身の經驗により全く經濟的な、而も便利、重寶な文明的料理材料であると云ふ確信を抱いたのでございます。季節を問はず、いづこにも最も多く用ひらるゝのは鷄卵でございますが、滋養の點及消化の點に於て、全く普通の鷄卵に劣ることなく、しかも貯藏の點に於て殊に便利でございます。粉末鷄卵は卵黄粉と卵白粉とに分たれて居りますが、何れも使用の際に適量の水に溶かして、普通の鷄卵の狀態にいたします。就中黄味の方は家庭に於て使用する時は、非常に便利です。何故なれば從來卵黄だけを使用して製る大そうよい料理法があつても、そのため幾個かの卵白を無駄にせねばならぬと云ふ事の爲めに逐ひ斯かる料理を避けると云ふ結果になります。然し今度此れを使用すれば、斯る不便を感ぜずに、幾何程でも黄味のみの料理が出來得るのでございます。白味の方も同樣に種々實際に料理を試みましたが、風味及び滋養價や經濟上には卵黄粉と同じですが、只溶解の度に於て、不備な點があつて、時間が少し多くかゝるので、少々不滿を感じて居りますが、これは未だ研究の餘地があると識者も申して居られます。次にその卵黄粉、及び卵白粉使用の料理法を二三あげて見ませう。

□**黄味酢の製法**　分量、卵黄粉二茶匕、水四茶匕、砂糖一茶匕、塩少々、酢大匕二杯。

先づ初めに卵黄粉を定量の水に溶きますと通常の鷄卵にかへります。之に前の分量の品を入れて、鍋を文火に懸け、ドロ〱になるを度としてトろし、冷して豫め用意したる材料に和へるのです。材料としては夏にふさはしいもので、鮑の薄作りと胡瓜などが最も上品なものでございます。調理法を申し上ぐれば、胡瓜の皮を剝き、種を取り、薄打ちにして塩を振り、約五分間位にして水洗ひを爲し、絞つて用ひます。鮑は出來得る丈薄く切つて、酢洗ひをなし、前の胡瓜と一緒に黄味酢に和へるのでございます。又氷鮑と胡瓜とつけ合せ、之を和へるも妙でございます。氷鮑はうすく纖にうつて葛粉にまぶし、熱湯を注ぎ懸けて後冷すのです。

□**マヨネーズソース**　卵白粉茶匕二杯（茶匕二杯は卵一個分の黄味です）を、水三茶匕にて練り、（少々固めになす）塩同一杯、辛子、胡椒を六分の一茶匕を木匕にてよく混ぜ合せ、之れにサラドオイル五勺乃至三勺を少々づゝ滴下しつゝ、泡立器などにてよくまぜふつくりさし

お化粧問答

問　私は暖くなると皮膚が荒て困るのですが何故でせうか。同時に手當法も承りたいと存じます。　靜岡市　渡邊はつ子

答　春になると自然塵埃も多く立ち舞ふので、それが汗ばんだ皮膚の機能を妨げるからです。ですから洗面や入浴の時には勿論、外出先から歸つて來た時などは、何を措いても先づ一番にクラブ洗粉を使つてよく〱皮膚の汚れを洗ひ落す事です。そして皮膚の保護と營養との爲めに効果の一番たしかなクラブ美身クリームか、又はクラブ美身ゼリーを塗けておくことをお忘れになつてはなりません。

問　春の氣分に相應しいお化粧法が伺ひたいのですが。　札幌區、井上まつ子

答　クラブ洗粉でお顔をお洗ひになりましたら、クラブ化粧水をつけて、其上に乘も延も申分のないクラブ白粉をお用ひになつてもよく、又クラブ粉白粉をポツトにつけて、襟から顔へと隅

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

たるな度として、酢を二三勺加へて加減するのでございます。

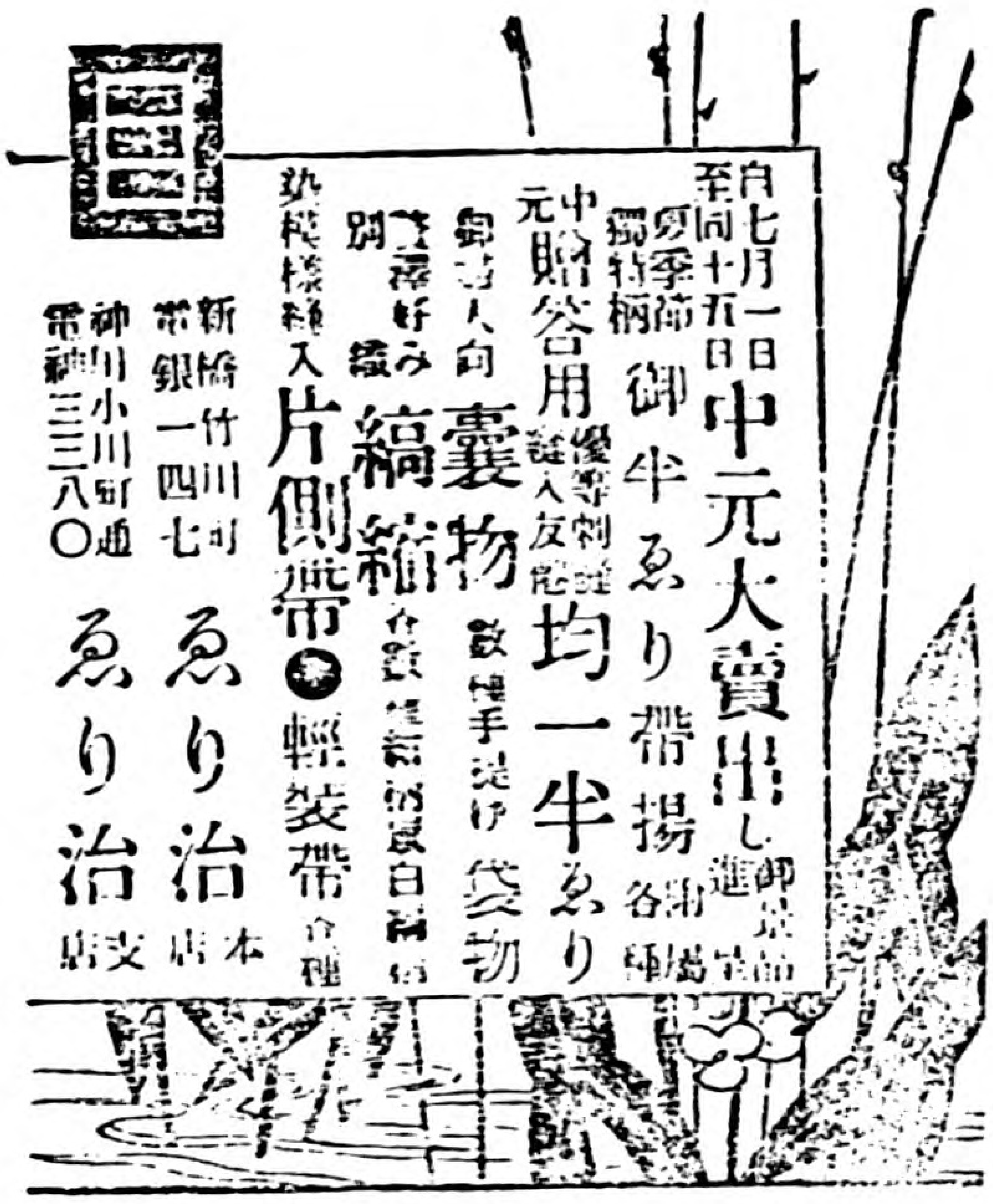
材料としてはトマトーと胡瓜、又はトマトーと馬鈴薯或はキャベーヂとトマトー、茸とトマトーなどが最も妙で、茄子のこのソースで和へたものは、殊に結構でございます。茄子は帶を取り去り、縦に櫛形或は縦に繊に切り、茹でゝ水氣をきつて冷し、唐草烏賊などをあしらつて出しますか或は小さい茄子を縦に切り、同樣にして和へていたゞくなども風味がまことによろしうございます。

ロレモン入アイスクリーム

先づ卵黄粉茶匕一、砂糖三杯に混ぜてよくまぜ合せ、牛乳一合にて之れを溶きます。而して之を文火に懸けて煮立たぬ程度(約七十度位、この程度なら半熟になつて、ミルクの中の蛋白質も固りません)に煮て下ろし、冷してからレモンエッセンスを入れてアイスクリーム器に懸けて製するのでございます。(レモン液を入るゝことは避けねば酸により固る恐れがあります)。このドロ〳〵した液は、そのまゝ器に盛つて氷片を入れ、折からの來客に供するもよく、又林檎などを砂糖煮し、深きコップなぞに入れ、上からこのソースを懸けて進むるも又喜ばるゝものでございます。

ロ笹の雪の製法　卵白粉茶匕一杯に水八杯を入れて練り、之を廿分程放置し(この間に卵白粉が溶ける)て後泡立器にて堅く細かく泡立てます。別に寒天半本、水一合二勺、砂糖廿匁を用意し置き、豫て五六時間水に浸して置いたる寒天を細かくちぎつて適量の水と一緒に鍋に入れて火に懸け、溶けた時に砂糖を加へ一度裏ごしにてこします。後更に十分間位煮詰め(中火にて)微温い度に冷やして泡立てられた白味の中に少しづゝ入れ終り、これを流し箱又は茶碗に入れて冷します。出來上つたものは、適宜形に切つて笹の葉を鹽水にて洗ひ器の上に之れを敷いて泡雪を乗せたる體にして進めます。

右のものは二三をあげたるに過ぎませんが他の何に使つてもまことに重寶でございます。價格は卵黄粉一罐入り(廿個分入り)金五拾銭卵白粉六拾個入一圓六拾錢で各販賣店にありますが製造元は青島とのことです。



なく打つやうにして塗けセーム革か掌でよく押へて斑を除くと一段引立つたお化粧が出來ますから、更に其上にクラブ頬紅を刷きつけ最後にクラブ刷白粉で直しますと、如何にも春の氣分が現はれて美しいお化粧が出來るのです。

問　段々暑くなつて參りますと髮が臭くなるので困るのですが、どうすれば臭味が除かれますか。　千葉縣下　なにがし

答　汗がにぢみ出るやうになりますと、汗腺や皮脂腺から分泌する種々な汚物が、生地や毛髮に附着して臭氣を發し、其上或種の皮膚病を惹き起したりするので特に頭髮の衞生には注意を拂はれなければなりません。髮洗ひを怠らぬ樣にすることが第一に必要ですが、それにはクラブ洗粉をお用ひになるのが一番宜敷いので、洗つた後には頭垢取用クラブキニーネを振りかけて生地にもみ込み、クラブ香油を髮に塗けて御覧なさい。さうすれば美しい髮となつて臭味も除れ精神も爽かになります。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

情の王様

（つゞき）

安中花子

「御入り下さい」といふ返事につれてアルノ母子の前に現れたのは、肥つた、赤ら顔の慾張りらしい人でした。アルノの母様を側に呼んで話したのですが、最後の一言は子供の耳にも確かに聽えました。

「ちやあ、明日迄にきつと家賃を持つて來なさい、約束が違つたら直ぐに追出すから、其の積りで居るがいゝ」と言ふのです。斯う言ひ捨てゝさつさと出て行く地主をアルノは、病氣で弱つた聲にも力を籠めて呼び返しました。

「小父さん……小父さんッてば。ね、少うし待つて頂戴。僕が病氣だつたもんで、母様は隨分忙しかつたの、それでも一生懸命に「情の王様」んとこへ仕事に行つてたのよ。きつと「情の王様」に話しやあ、助けて下さる、きつとだ。僕知つてます。あつちだつてあんなに富有で、あつちこつちを歩いちや、人はつかり助けていらつしやるんだもの…………」

「な……さ……け……の王様？情の王様だつて？」

「エ、「情の王様」よ。お話の中に出て來る仙人の通りですつて、親切ばつかりして困つてる人を助けて居らつしやるのよ。此の町で一番の富有で、彼の森の中のお城のやうなお邸に住んでらつしやるの。僕の母様は毎日あのお邸へ御用に行くんだから、きつと助けて下さると僕は思ふの。だからね、小父様、どうぞ彼所の森のお城の王様にお願ひするまで待つて頂戴。後生一生のお願ひです」

「だ、だんな様」肥つた恐ろしい今の小父様は戸口まで行つて、どもり乍ら斯う呼びますと「ウン、それ「情の王様」だぞ。お前はあつちへ行つて待つとれ」と言つて、赤ら顔の肥つた人を出して仕舞つて、アルノの寢床の側へ進み寄りました。

「小、小父様！貴方もお家賃を取りに來たの？ど、どうぞだから母様が「情の王様」に逢ふまで待つて頂だい。母様は「情の王様」のお邸で毎日仕事してるんだから、きつとあの方がもつとお金下さると思ふの。」

「エヘン、エヘン」と今入つて來た人は妙な咳をして居ます。

「エヘン……坊や、若しどつかの人が來て、お前の話した「情の王様」は實は慾張王様」で、病氣の子供を家から追出して、町中へ投り出したり、色々酷い事をするんだつて言つたら、お前はもう其の「情の王様」を嫌ひになつちまふだらうな。如何だ？」

「否、僕は嫌ひにやならない。」

それは「情の王様」がちよつと間違つたんだから、僕は賴んで、追出した子供を又元のやうに家の中へ入れて頂くさ。「情の王様」だもの、賴めば、きつと入れて下さるに定つてらあ。」

「それぢやあな、坊、其の情の王様がお前に世界中で何が一番欲しいつて云つたら、何と言ふね？」

「僕は丈夫になり度いつて言はう。丈夫になりや仕事も出來るし、母様のお世話もして上げられるからね。丈夫になつたら、一生懸命働いて、今にお金を儲けて、大きなお庭を作へて、貧乏な子供を遊ばせてやるんだ。太陽が見えて、花が咲いて、鳥の聲の聞えるお庭を作へるんだ。皆嬉しがるだらうな」

「坊や、眼をぎゆつと閉つておゐで。小父様がお前に秘密のお話があるんだ」

「よくお聽き。お前が「情の王様」つて言つてる富有者は大慾張だつたんだ。けれども其の大慾張のことを「情の王様」なんて

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

言つて、呉れた子供があつたのだから、これからほんとの「情の王様」にならうと思ふんだ。「情の王様」になつたお祝として、先づ第一に其の子供の病氣をお醫者様に見せて、すつかり丈夫にして、それから其の子は田舎へ行つて、大きなお庭を作るんだ。其所へ大勢方々の可哀想な子供を連れて來て、神様のお作りになつた奇麗な物を見せてやる事にしよう」

アルノは痩せ衰へた二本の腕を伸ばして、今初めてほんとの「情の王様」になつた大慾張の地主の胸に抱かれました。

其所へ、先程から待ちくたびれた肥つちよの從者がヌッと首を出しましたら、此の有様でせう、御主人は病氣の子供を抱いて居るのですから、魂消て仕舞つて、妙な聲を出しました。

「シモンスか？此處へ來い。此の俺を情深い人間と思つて居て呉れた子供もあるんだ。斯うして俺を思つて呉れる者があると早く知つたら、俺もこんなにや成らなかつたどらう。誰一人俺を愛して呉れた者は無かつたんだからな」

從者の眼には涙が溜つて來ました。痩せ細つたアルノの口からお祈が出ました。

それから暫く立つた日の朝、アルノと同じやうな高い高い建物の太陽の月も入らないやうな部屋に住んで居る大勢の子供達は、少し前にアルノの母様から聞いた「情の王様」の話の通りの有難い事に逢ひました。大變な大變な御馳走を頂いて、廣いお庭に入つて、お舟に乘つたり、樂隊を聞いたりして、太陽様が西の山へ沈む迄遊んで來たのです。大慾張がほんたうに「情の王様」になつたのです。それもみんなアルノの可愛い心からでした。

（をはり）

新装の高島屋へ

涼しい御支度―暑中見舞の御進物品

夏になりました。暑中をひかへた高島屋では店内の陳列にあらゆる涼しさを凝らして夏のお客様をお待ち申して居ります。

△五十錢内外の御進物には▽

縮緬友仙半衿 一掛 四五十錢より
絞り縮緬帯〆 一筋 三十錢位より
丸ぐけ帯〆 一筋 二三十錢より
子供持友仙バッグ 一個 五六十錢より
友仙紙入 一個 五六十錢より
友仙小形鏡入 一個 五六十錢より
縮緬細工箱 一個 二三十錢より
絞りてがら 一掛 四五十錢位より
レース襟（衣服袖口） 一掛 二三十錢より
ネクタイ 一本 七八十錢より
靴下 一組 四五十錢より
タオル製スタイ 一掛 二三十錢より
同寝冷しらず子供用 一枚 五六十錢より
タオル製手巾 半打 六十錢位
化粧ハンカチ 一箱入 四十三錢位
エプロン各種 一枚 七八十錢より
ガーゼ肌着 一枚 七十錢位

▽一圓内外の御進物には▽

染手拭 一反（十枚） 一圓三十錢位
晒木綿 一反 一圓二十錢位
モスリン友仙風呂敷 一枚 一圓前後
ミシン染中形 一反 一圓五十錢より
真岡白縞浴衣 一反 一圓三十錢より
縮緬手帛紗 一枚 一圓六十錢より
友仙羽二重半衿 一掛 一圓四五十錢より
縮緬紗無地半衿 一掛 一圓二三十錢より
錦紗友仙バッグ 一個 一圓位より
刺繍紙入 一個 一圓二三十錢より
刺繍鏡入 一個 一圓二三十錢より
丸ぐけ刺繍帯〆 一筋 八九十錢より
タオル 半打入 一圓位より
金巾ハンカチ 半打入 一圓位より
メリヤスシャツ 一枚 一圓位より
小町糸五色 一箱入 一圓位より
絹糸五色 一箱入 一圓位より

▽二三圓内外の御進物には▽

千代田染中形浴衣地 一反 二圓三十錢位
真岡中形浴衣地 一反 二圓五十錢位より
真岡白縞浴衣地 一反 二圓五十錢位より
白御召 一反 三圓五十錢位
白絽 一反 三圓五十錢位
刺繍半衿 一掛 二圓位より
錦紗友仙帯揚 一筋 二圓五十錢位より
紋縮緬帯揚 一筋 二圓位より
甲斐絹風呂敷 二巾物 二圓八十錢位
博多伊達〆 一本 二圓五十錢位より
兜の紋一帛紗 一枚 二圓五十錢位より
金具付帯〆 一本 二圓位より
金巾ハンカチ 一打 二圓位より
刺繍パ[illegible] 一個 一圓七八十錢より
手提信玄袋 一個 三圓位より
絹夏靴下 一組 二圓位より
ガーゼ製寝衣 一枚 二圓五十錢位
レース肌着 一枚 三圓位より
タオル 一打入 二圓五十錢位より
小町糸五色箱入 二圓位より
絹糸五色箱入 二圓位より

△五圓内外の御進物には▽

御召縮緬染中形 一反 五六圓より
有松絞り浴衣地 一反 二三圓より六七圓位
新近江縮浴衣地 一反 五六圓位
久留米絣 一反 五圓位より
薩摩絣 一反 四五圓より
白ガス上布 一反 四五圓位
伊勢崎絣 一反 五六圓位
明石縮 一反 六七圓位
白地絣 一反 六五圓位
加茂川縮 一反 五六圓位
白近江晒 一反 四圓位より
近江麻白絣 一反 八九圓より
麻友仙輕装帯 一婦人向 六七圓より
化粧手提袋 一個 四五圓位
夏の絽襦袢 一男子向 三圓五十錢位より
同 婦人向 三圓五十錢位より
同麻レース入 同 四五圓位より
縮緬友仙虫除 一筋 四圓位より
絹製改良虫除 一筋 三圓七八十錢より

其の他十圓以上何程にてもお恰好の品を整へてあります

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小説

北國の海より

松平操子

四

祖母や叔母達が歸つて了つて母と私とだけが殘りました。かうした靜かな日を私はどんなに待つて居た事でせう。

本もよみませう、歌も作りませう、考へも致しませうと、私の心は期待に燃えて居ました。たゞ母だけが氣の毒な氣が致します、本もよまず、又その唯一の生命である仕事をも持たないのですから。そのうちに誰か母の知人でも來て吳れゝばいゝと思つて居ます。

叔母達が歸つて了ふと、私達は早速別館の方に移されました。それはこの部屋に××縣知事とその家族が來る事になつたのださうで、宿の主人が頻りに賴んで居ました。

私達は快くその見知らぬ知事の爲に讓りました。それは母と二人だけでは廣すぎも致しますし、又一番眺望のいゝ部屋だといふ事を知つて居ましたから。「快く」とは申しますものゝ、本當は憤りを感じました。併し考へて見ますと、知事はこの宿の主人に取つて、昔の大名にも似た權力を感じさせるのでせう。此方は無位無官の併かもお金もない一平民なのですから。

別館の私共の部屋からは海が見えません。この事がほんとうに私を悲しくさせました。けれどもこゝには本館にはなかつたバルコンが御座います。これからの毎夜はこのバルコンが何よりの樂しみとなるでせう。

五

こんどは母が退屈さうで氣の毒で御座います。毎日欄干から往來を見ては

「××さんが來さうなものだ」

なんて云つて居ます。

昨夜こゝの下女が御飯を持つて來た時に、私共の部屋から廊下を隔てゝ斜かひの部屋に居る若い婦人が、やつぱり東京から來た人だと報告しました。

さういへば廊下ですれ違つた時に、何うも東京の人らしい感のした人が御座いました。そんな一言にさへ母も私も興味を持つて居ます。

もう往來には例の「お河童さん」も姿を見せません。

此頃私共は朝早く起きます。そしてすぐ一風呂浴びて參ります。一晩中渾々として湧き出て居る湯の泉は浴槽をこして溢れて居ます。薄青い海の樣な浴槽に身を沈めますと、まだ湯らしい少しヒリヽとする樣な感觸が寢起の皮膚を快く刺戟します。そしてすぐその足で濱に參ります。

手拭と下駄を砂の上に置て、裾を少しからげながら、裸足でヒタ／＼に潮にぬれた渚を歩くのです。お天氣のいゝ日は波は靜かです。所々に赤や白の貝殼が寶石の樣に光つて居ます。ぬれた濱をふむと、足裏に非常に彈力のあるゴムの上をふむ樣な感觸を訴へます。一歩一歩その感觸を味ひながら、時には貝殼を拾つたり、しつとりとぬれて丁度スレートの樣な砂の上に字を書いたりして居る私は、いつも母との間隔が隨分大きくなつて了ひます。隔つた母の姿を見ながら、私は勝手な字を書きます。その字を眺めて微笑したり、赤くなつたりしてゐる瞬間に、波が來て奇麗に吸ひ取つて吳れます。それがどんなに私を樂しませて居るでせう。時々もし波

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

かすつかり引いて了つて、砂が乾いた時に、はつきり私の字が浮び上つて來はしないかといふ樣な心配も致します。

　朝は稀に歸つてくる漁船が、人だかりをこしらへる位で、大變靜かで快う御座います。淺い砂濱が長く〳〵北につゞいて居ます。晴れた日はその濱の末に出羽富士の姿がなつかしく眺められます。

　夕食がすむと又母を引つばつて濱に參ります。夕方は可なり賑つて居ます。魚取りにゆく舟が支度を整へる爲に漁夫や海女達が騷いで居ます。

　銅色の胸をあらはに、恐ろしい髭むしやの漁夫達の言葉をきいて居ますと、その土音の中に何かしら温い韻が流れて居る樣な氣がします。知らず〳〵鄕土的の音にひきつけられて行きます。私はこの土地に生れた譯でもありません、育つたわけでもないのです。併し私の血管の中には、此地方に生れ、この地方の土となつた祖先以來の血が流れて居るのです。その血が不思議な共鳴を感じるのでせう。

　夕方は少し波が高くなつて居ます。波の白い齒が次第〳〵に砂を嚙んでだん〳〵砂は水の中に引き込まれて了ひます。砂に脫いでおいた下駄が、いつの間にか波に持つて行かれさうになる事も御座います。

　そんな時に私は陸と海との戰を考へます。クールベーの繪にみる樣な爭鬪を考へます。

　かうした裏日本の土地はだんだん水の爲に蠶蝕せられて行くのです。私が今かうして立つて居る砂も幾年かの後には、魚が尾を振つて泳いで居るかも知れません。

　漁夫達はそんな事には頓着なく、木の葉の樣な舟にのつて、一晩中を海の上で暮す爲に出かけてゆきます。行手には一點の燈さへもなく、たゞ暗黑の海がはてもなく展開して居るだけなのです。その暗い恐ろしい力を藏して居る海の胸の一隅に網を入れて、或は糸を垂れて獲物を取らうとするのです。

　私はその舟をいつまでも眺めては、何かしら涙ぐましい樣な氣がします。

六

　私は此間中あの人の事――許婚を――考へて居ました。

抑もの話があつた時、まださうした事を少しも考へなかつた私は、すべてを父母任せにして了つたのです。そしてあとは忘れた樣にたゞ學校の事に許り沒頭して居たのでした。そしてそれがどんな風に發展してゆくか、丁度他人の事を見る樣な興味を以て眺めて行かうとして居ゐる樣でした。

　この前にも申しあげました樣に、母と二人でこゝに來てから可なり眞劍に考へる樣になりました。

　濱を歩く時にはいつもその事を考へて居るのです。併しそんな時には、戀に似た樣な深い憧憬の氣持も交つて居る事を否むわけには參りません。

　此前に一寸申しあげました東京の人といふのは、私の知つて居る人で御座いました。

　何だか見覺えのある人だと私は思ひました、彼方でもさう思つたらしう御座いました。

　私が××女學校の二年生の時分に丁度一年に這入つた多くの可愛い人達の中に、K子といふ人が居りました。私は特別に話をした事は御座いませんでしたけれど、K子の姉といふ人がやはり私共の上級で、可なり噂のあつた人だつた關係から、よく顔を知つて居ました。

　間もなく私は轉校して了つたので、K子の事などは思ひ出した事も御座いませんでした。

　今私の部屋の向に居る人はK子なのでした。丁度何年か前のK子を何倍かの顯微鏡で廓大した樣な顔をして居ました。もうミセスなのです。

　その良人の陸軍中尉N氏に紹

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

介されたのは、私の好きな露臺の夜で御座いました。月がなくて銀の様な星だけがきら〳〵と輝いて、銀河が白くうつすりと海の彼方にのびて居ました。私は涼しい風の中に空を仰ぎながら、露臺の上を歩いて居ました。そこにK子夫妻があらはれたのです。

K子は簡單に紹介しました。たゞ頭を一つ下げたきり、何も物をいひませんでした。いつ逢つてもその陸軍中尉はあまり物をいつた事がありません。醇朴さうな人ですけれど、面白くもなささうな人です。

けれどもK子はよくまめ〳〵しく仕へ――この言葉が一番よく適當して居る様です――て居ます。あの小さかつたおはねさんがと思ふと、不思議な様に思はれます。

その部屋の前を通りますと、中尉は横になつて、K子が頻りに團扇を動かして居ます。私は少し口惜しい様な氣がしました。

た。「私は結婚したつて召仕の様な眞似はすまい」と思ひました。

併し私は直きにさう思つた事を後悔しました。私はまだ結婚した事がないのです。どんな點からでも、處女の誇を保たうといふ事より考へては居ないのです。愛とはどんなものか、結婚とはどんなものか、本當の事は何も知りません。

もしK子のして居る事が、在來の奉仕的態度だけのものでなくて、眞の愛から出て居るとすれば、それは本當に尊い事なのだといふ氣がして來ました。何でも自分でして見なければ、局外者や傍觀者には本當の事が分らないのではないかと思はれて來ました。

そして私が今迄私の結婚について傍觀者的な無關心な態度を取つて來た事は本當にいけない事だといふ事に氣がつきました。

「そんな事は何うでもいゝ」といつた様な態度は、決して處女の誇ぢやありません。寧ろ恥づべき事だつたのです。間違つた事だつたのです。

處女の生命はよき妻となり、よき母となる爲にのみ尊いといつたエレン、ケイの言葉が、本當にうなづかれます。

私はこんど歸りましたら、もう恥かしがつたり、知らない振りをしたりする態度を捨てゝ、十分に許婚の事を聞きませう。そして會はせても貰ひませう。十分に理解し合はなければ、その間に眞の愛は起り得ないと思ひますから。

七

愈々知事一行が參りました。太つた鷹揚な紳士と、六十を越した切下げの老婦人と三人の男の子とがその家族らしく、夫人は見えません。何となく淋しさうな様子です。

宿の人の話によりますと、夫人は先年亡くなられたのださう

二十四

です。夫人はもと私の父の教子であつたさうです。氣の毒で何か慰めて上げたい様な氣がしました。少しでも憤を感じた事を濟まない様な氣さへして居ます。

昨日母と南の方の濱へ行つて岩の間から、一寸程の小魚を二三匹取つて參りました。早速青い藻と一緒に白い水盤の中に入れました。

小さい魚はこゝが何處であるかも氣づかない様な風で、活潑に泳ぎ廻つて居ます。昨夜一晩眺めて、今朝も起きなりから見て居ます。でもあの玫瑰の花が白くさく海邊が、砂白い岩間が戀しからうと思ひます。明日でも又元の所に歸して來ようかと母と話して居ます。

私達もそろ〳〵家が戀しくなつて來ました。（をはり）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

□聖上凱旋艦隊を御閲　天皇陛下には九日午前七時半東京驛御發車、同九時五分横須賀に御着、逸見埠頭より軍艦金剛の艦載水雷艇にて練習艦出雲に成らせられ、去月地中海より凱旋せる千坂中將の統率せる一特務艦隊旗艦磐手、千歳並に佐藤少將の引率せる第二特務艦隊旗艦出雲以下日進、廿二、廿三、廿四各驅逐隊及び獨逸潜水艦七隻を御親閲あらせられ、午後三時二十分横須賀御發車にて還幸遊ばされました。

□出征隊に勅語　天皇陛下には三日海軍出征部隊に對して、優渥なる勅語を賜ひました。右に付一同深く感謝し、四日加藤海相は、出征部隊に代りて參内、親しく御禮を言上されました。

□東宮信濃に行啓　皇太子殿下には、長野縣下の神社佛閣御參拜旁々、軍隊、官衙、名勝古蹟其他御見學の爲め四日午前五時三十分東宮御所御出門、步兵大尉の御服に大勳位副章御佩用、同六時十五分新宿驛御發車諏訪に向はせられ、午後五時二十分長野驛御着、善光寺に勤進に入らせられ、爾來御豫定に從ひ各所御見學の處、七日午後四時上野驛着列車にて御還啓遊ばしました。

●米國調印を勸告　米國全權委員長ランシング氏は、支那委員に對し、非公式に警告をなし、二週間の猶豫期間内に於て、講和條約に調印するやう勸告したさうです。

◉支那の講和調印　巴里發某所着電に依れば、支那全權委員長陸祥氏は、最高會議の友誼的勸告に從ひ、講和條約に調印することに決心し、本國政府に對し再度の訓電を仰いださうです。

◎獨前帝愈審問　巴里に於ける最高會議は、二日の協議に於て、前獨逸皇帝を審問するに決し、其の具體案を進め、十二人より成る審判委員を任命したさうです。聯合國は十四日午前を以て和蘭政府に對し正式にカイゼルの引渡しを要求する筈だといひます。

◉侯と男の英國訪問　西園寺侯及び牧野男は、近々倫敦に出發し、英國皇帝に敬意を表したる上、再び巴里に引返し、西園寺侯は、十九日ブレストを出發、印度洋を經由して歸國の途に就き、牧野男は講和事務の完了するまで佛國に滯在される豫定ださうです。

◉獨逸の國內分離　南部獨逸に於ける屈辱的講和反對運動は、益々猛烈の度を加へ、ミユンヘン勞農政府は、伯林政府に對して分離を宣言し、講和條約の負擔を分つ能はずと聲明しました。他の諸地方にも亦之れに倣はんとするもの出で、目下憂ふべき狀態にある由を某所着電は報じてゐます、

◉芬蘭の共和宣言　芬蘭政府は六月廿九日を以て、共和制を宣言し、同國議會はマンネルハイム總督を臨時大統領に推薦しました。

◉日支の紛糾擴大　支那政府の雲行は益々險惡となつて來ました。調印拒絶を主張する一派の者は、屢々集會を催し、此際、日本と山東問題と交渉せずして、一先づ親善關係を打切り、斷然英米の力を藉りて日本と爭ふべしと主張してゐます。一方政府は、山東問題に關し、專ら米國に依賴して、支那の面目を立て、日本の讓歩を求むべく交渉中ですが、更に政府は國權維持の爲め、條約に調印せずして獨逸と別に平和條約を結ぶべしとの案を國會に提出するとの報道さへ傳へられてゐます、旁々日支兩國間の紛糾は一層擴大されるでせう。

◉浦潮の大罷業　七月一日浦鹽驛鐵道從業員（機關夫ポイントメン）一齊に罷業を決行しましたので、漸次各地に波及して續々同盟罷業をするやうになりました。爲めに別莊行の列車は勿論、ニコリスク及びハバロフスク行きの定期列車も發車不可能となつたとのことです。原因は給料の値上要求と云ひ居れど、其の主要動機は、鐵道局に於て最近從業員の一部を過激派の一味として、解雇したるが爲めらしくあります。

◉外相官邸の平和祝賀　内田外相は五日夜朝野の貴紳を、官邸の樓上に招待して、晩餐を饗し、其の宴を撤すると共に九時から夜會の催しがありました。之れ平和成立の祝賀の爲めで、參會者は日本紳士六分、歐米紳士二分、婦人二分といふ割合で、其の數約三百、十一時頃には殆んど半數の人は歸り、殘る人達で平和の舞踏をなし夜を深しました。

◉石井大使歸朝す　石井米國大使夫妻を乘せた日本郵船諏訪丸は、三日午後四時横濱に着、盛んな出迎へを受け、上陸直ちに自助車で正金銀行に入り少憩後櫻木驛五時八分發の電車で歸京されました。

◉憲政會大會　憲政會關東大會は六日午後二時築地精養軒に於て開會、出席者一千餘名、加藤總裁の演說に次で、武富總務は、重大なる政局に當り、無爲無能の現内閣には依賴し難きに付、宜しく之を顧慮せざるべからずと喝破し、岡部次郎氏の發聲にて兩陛下の萬歲を三唱、直ちに大懇親會を開き、六時に散會しました。

◉教育功勞者表彰　東京市教育會では、五日午後二時から神田一つ橋高等小學校内に總會を開き、教育に功勞ある田村藤兵衛、坪谷善四郎、戸野周次郎、森田登、御園生金太郎の五氏に對し表彰式を行ひ、各表彰狀に置時計一箇づゝを贈呈しました。

◉小學教員の同盟休業　北海道札幌區内に於て、各小學校教員が生活難の爲め、同盟退職の決議をしたとの報が傳はつてゐます、右に付區長は教員の臨時手當を區吏員同樣、平均五割支給の計畫を立て近く之れが決定を見る筈になつてゐるとのことと

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

です。

◉大井中將伏奏　西伯利より凱旋東上の途次横濱グランドホテルに一泊せし大井第十一師團長は、稲垣參謀長を從へ、五日朝九時十四分東京驛着の列車にて入京し、十時三十分參內表御座所にて天皇陛下に拜謁仰付られ、西伯利出征中過激派掃蕩に從事せし戰闘經過を伏奏し、續いて皇后陛下の御機嫌を奉伺されました。

◉高楠博士萬國學士院へ　萬國聯合學士院は本年十月佛國巴里に開催される筈ですが、日本からは文學博士高楠順次郎、法學博士小野塚喜平次の兩氏帝國學士院を代表して出席されることに決定、八月初旬には出發されるさうです。

◉明石總督の重態　臺灣總督陸軍大將明石元二郎氏は、任地臺北に在りて本月末輕微の發熱を感じ治療中病勢日々昂進して、四日朝より重患に陷り、五日は肺炎に發じたとの報、畏くも天聽に達し、六日兩陛下には容態御尋ねとして、中澁谷の同邸へ葡萄酒一打下賜の御沙汰を傳へられました。

◉陸軍看護婦の規定　今度陸軍看護婦なるものが出來、七日其の規定を發表しました。從來陸軍では看護卒のみを使用し、女を禁制してゐましたのですが戰時に於ける赤十字看護婦の著しい活動と其の成績のよいのを認められた結果、婦人採用の改正を見るに至つたのださうです。

◉佛教婦人會の敬老會　は六日午前九時より、品川御殿山益田邸にて總會を兼ね、六十五歳以上の老婦人を招待し敬老會といふを催しました。招かれて出席した方々の中には、棚橋絢子刀自(八十一)跡見花蹊刀自(八十)嘉悦久子刀自(七十六)、板垣伯夫人等がありましたが、棚橋女史は年長者として謝辭を述べられました。

◉ハツホン女史送別會　五日午後六時から、女子英學塾教頭ミス・ハツホン女史の爲め、同塾にて送別會を催し、多年我國女子教育に盡されし女史に對する謝恩と、今度故國亞米利加に歸國されるに就ては惜別記念品の贈呈とを行ひました。

◉植村惠子孃の渡米　日本基督教界の元老植村正久氏令孃惠子(二四)は、八日横濱出帆のコレヤ丸で渡米されました。孃は米國東部のハートフォード神學校に入學、宗教を研究されるのださうです。

◉中國の大洪水　四日以來岡山、廣島方面に降雨續きにて大洪水となり、鐵道其他の被害甚だしく、岡山縣旭川は一丈六尺、同吉井川は一丈一尺三寸の增水にて堤防決潰し、廣島市にては、市內數ケ町の橋梁流失し、損害三十餘萬圓に達し、鳥取縣米子町は、加茂川溢れ、各川大出水の爲め、安久地方は一時危險に瀕しました。又島根縣那賀郡濱田町も河水汎濫し、中國第一の石見國江川橋は五日流失し、福山市は全部浸水、溺死者も多數出しました。山陽線は浸水の爲め不通の箇所多かりしも漸復舊し、六日午後一時十分よりは漸次開通するやうになりました。

◉北陸線の大水害　六日來の強雨は七日尚歇まず、遂に富山縣下の各河川氾濫し、北陸線石動福岡間の鐵橋及び線路破壞の爲め、汽車全く不通となり、流失家屋も亦多く、且つ農作物の被害尠なからざる見込との高岡電報が其筋に着してゐます。

◉少年動物愛護會　は各小學校の贊成を得て昨今多數の會員を得たので、八日午後二時から子供に分るやうな講演會を神田區北神保町の東洋幼稚園で催され、岸邊福雄、大內俊氏等のお伽噺などがあつて、大變に賑はひました。

◉家庭博覽會開催　上野不忍池畔に開催の家庭博覽會は、十日から開かれてゐます。平和記念を意味せる講和會議場ヴエルサイユ宮殿の模型を始め、日本と世界の山水、花壇、噴水池、遊戲場、相撲場、歌劇場等何れも見るべきものと思はれます

編輯室より

▲讀者の皆樣から續々およせ下すつた懇ろな[illegible]に對して、一々の御返事を書き紙上ならで、厚く御禮を申し述べます。

▲「送別音樂會」は別項記載のやうに廿七日午後六時半から晴雨に拘らず鶴見花月園に於て開かれます、華々しい送別を開いていたゞくやうな價値あるものでは、もとよりありませぬか、先輩や知人方の他意なく御後援して下さる志の嬉しくて、これは私の爲めでなく日本婦人の前途の爲めに、一人でも起たせて下さる意味であらうと、遠慮なくこの企てを運んでいたゞきました。なほ出發迄餘り時日のない私に、其處で特に親しく御挨拶の出來ることを、大層便宜にも思つて居ります。▲身に餘る人の好意と厚い恩寵を謝して、編輯の終りを告げます。

人事相談所

本所は婦人週報社の附屬事業として、絕對秘密の下に、結婚調查、人物調查、財產調查、男女學生品行調查等の御依賴に應じ親切と誠實を以て其の任に當ります。但し依賴者が不當と思はれる程の低廉な調查料を申受けます。御相談の旨は成るべく簡明に書面にてお申越し下さい。萬一面會の必要あるお方は木曜午後零時から四時迄の間にお出で下さい。

東京牛込區市谷田町二丁目十七番地婦人週報社內
人事相談所
電話番町四五六六番

婦人週報 (每週金曜發行) 定價表

△壹部金五錢 (郵稅共)
△一ケ月(四部又は五部)金廿二錢
△三ケ月分　金六拾六錢
△半年分　金壹圓廿錢
△一ケ年分　金貳圓四十錢
△外國一年分　金參圓[illegible]錢

廣告料
御照會次第詳細御回答申上げます

注意
▲御註文は一切前金の事▲郵券代用は必ず一割增の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌の送付を以て領收書に代ふ

編輯兼發行印刷人　小橋三四子
東京市京橋區銀座四丁目一番地
印刷所　福音印刷株式會社
東京市牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地
發行所　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人週報索引

自四巻四十三號
至五巻二十六號

□社説の部

本誌の三周年に際して 四ノ四三
忘れて居る死の問題 四ノ四四
講和に際して婦人は何を爲すべきか 四ノ四五
世界の大戰と婦人の獲物 四ノ四六
世界に動く理想に刺戟を受けよ 四ノ四七
今年の婦人界（上） 四ノ四八
今年の婦人界（下） 四ノ四九
意義深き降誕節 四ノ五〇
小さき心の扉よ開け 五ノ一
二つの不自然な死 五ノ二
天國は近づけり 廣岡淺子刀自を悼む 五ノ三
義人の蒙る悲慘の運命 五ノ四
成瀬校長告別式外數項 五ノ五
政治は私共の良友となれ 五ノ六
所謂結婚難 五ノ七
田中家の不祥事外數項 五ノ八
女子教育界の先覺者成瀬仁藏氏を惜しむ 五ノ九
男女總力の偏重 五ノ十
朝鮮の暴徒外數項 五ノ十一
デューイー博士夫人と語る外數項 五ノ十二
純潔の德を更らに發揮せよ 五ノ十三
婦人の音聲と言葉の節約 五ノ十四
志立家令孃の留學外一項 五ノ十五
東宮御成年式外三項 五ノ十六
竹田宮家の御不幸 五ノ十七
困難な我國の立場に處して 五ノ十八
民主思想に並行する社會教育の機關 五ノ十九
制裁と云ふ事 五ノ二十
日本の現狀と婦人の覺悟 五ノ廿一
婦人勞働者の問題 五ノ廿三
社會の病弊の生んだ稀代の犯罪 五ノ廿四
苦勞人と恩惠 五ノ廿五
本誌の次號限り中止するに就て 五ノ廿六
別れに臨みて 五ノ廿七

時事週評

▲娘強盗お千代の縊死▲猖獗を極むる流行性感冒▲伊藤校長の辭職 四ノ四三
▲萬國婦人大會▲峰良刀自の叙勳 四ノ四四
▲大正婦人會の巡回師▲征士慰問の二婦人歸る 四ノ四五
▲米國の保護▲東京市の祝賀會▲明年の日曜學校大會 四ノ四六
▲須摩子の墓所▲高等女學校の卒業生▲流行性感冒の死亡數 五ノ六
▲山脇博士の婦人參政權論▲酒造五百萬石▲師範入學者の激減 五ノ十
▲國際聯盟と日本の立場 五ノ十七

□談叢の部

婦人を中心とした今後の問題 ▲男女共通の世界（桑木博士）▲女各員様々の女子の素養教育（成瀬仁藏）▲人類として幸福な男女平等の社會（山本邦之助）▲戰爭の底を流るゝ平等の思想（馬場孤蝶）▲將來の家庭問題（久布白落實さん） 四ノ四三
女友の必要（薄田斬雲） 同
戰時の米國に現はれたる道義的精神（ファネス女史） 四ノ四四
婦人の公的生活（薄田斬雲） 同
平和の曙光（山脇博士） 四ノ四五
過渡時代と我が娘の躾け方（故島村抱月） 同
平和と婦人 ▲千秋一週の時（矢島楫子）▲準備は既に成りけり（ミス、アズバン）▲愛國心の變遷（ミス、フイリップ） 四ノ四六
强請と慈善（斬雲） 同
婦人に對する思想の變遷（平沼博士） 四ノ四七
再び渡米して（一柳まき子） 四ノ四八
幼い日の美しい記憶（野口幽香子） 四ノ四九
危險の盲信念（斬雲） 同
精神の輝きに滿つる歐米（谷窗政助） 四ノ五十
平民主義の道德的意義（安倍能成） 五ノ一
婦人問題の二源泉（河田嗣郎） 同
これからの勝利者（[illegible]淺子） 五ノ二
戰捷の裏を飾る婦人の活事實（牧野虎次） 同
隣邦支那に對する日本婦人の使命（廣岡淺子） 五ノ三
冬の北國婦人（三輪田元道） 五ノ四
歐洲大戰は如何にして終りしか（吉野作造） 五ノ五—七
末開國のやうな社會の狀態（[illegible]） 五ノ五
婦人の營養不良問題（薄田斬雲） 五ノ六
個人と國家の二重道德（元田作之進） 五ノ八
一切か無か（有島武郎） 五ノ九—十二
靈の通ひしかこの夢（森村男爵） 五ノ十
日本には果して創始力無きか（和田八重造） 五ノ十一
完きものは部分の和（デューエー博士夫人） 五ノ十二
日本婦人の自由と獨立（ファネス女史） 五ノ十三
永遠の緒に立ちて 五ノ十四—十八
其の國の家屋は國民の理想を語る（森本厚吉） 五ノ十四
大成した藝術家に共通の三點（[illegible]） 五ノ十五
子供に就て（倉橋惣三） 五ノ十六—十九
易は果して當るものか（遠藤[illegible]士） 五ノ十七
亞米利加を縱橫して（松本博士） 五ノ十八
近來の英國婦人の傾向（杉森孝次郎） 五ノ十九
婦人に不利益な結婚屆の遲延（穗積博士） 五ノ廿
新研究になる食糧問題（永井博士） 五ノ廿一
行き詰つた米の問題（永井博士） 五ノ廿三
私の立場から倫敦を見て（太田秀子） 同
ブラジルの殖民地に生活して（永島ひろ子） 五ノ廿四
生活の壓迫を何處に啓かんか（堀内文學士） 五ノ廿五
還境の豐か過ぎる米國（松本博士） 五ノ廿六
朝鮮騷擾の眞相（山本忠美） 同
餞詞 ▲婦人選擧に就て（高島平三郎）▲またも喜びに打ち笑まる（羽仁もと子）▲明治時代の思ひ出（人村島代子）▲獨立の精神と旅行の意志（薄田斬雲）▲小松女史の海外旅行を祝して（櫻井女史）▲小松女史の送る（松本雲舟）▲お別れに際して（吉川氏子）▲大きな抱負の首途（三大寺本紀） 五ノ廿七

□わが子寶

十人の母なる與謝野晶子女

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

史 四ノ四五
六人のお子達に關する、西園寺新子夫人 四ノ四七
九人ハ子女五人の孫に賑ふ芳賀博士家 四ノ四八
雄々しくも强き母淺田みか子夫人 四ノ四九
お茶之水の父樣倉橋惣三氏の家庭 四ノ五十
十二人の子貸榮ゆる永井家 五ノ一
母の進まぬは子等の不幸と語らるゝ田中四郎左衛門氏夫人 五ノ二
依頼心のない女にしたいと苦心さるゝ西邑仲子夫人 五ノ三
九人の子女に圍まるゝ德富靜子夫人 五ノ四

□新らしい學校新らしい校長

塾長代理を辻松子女史に委ねた女子英學塾 五ノ七
婦人問題の研究者として知られたる日本女子大學校の新校長麻生正藏氏 五ノ八
女子大學の下地として專攻科を置く千代田高等女學校 五ノ十
新らたに生れ出でんとする女子高等實務學校 五ノ十一
補習科に結婚論を講ずる市川校長 五ノ十二

□社會の部

海軍の慈母 四ノ四三
二年振りで樂壇に現はるゝ久野久子女史 同
五年間いそしみ續けた針の會 四ノ四四
家事科共展覽會を觀る 同
征士慰問から歸つた二婦人 四ノ四五
ロッキー山麓の田園生活 四ノ四六
學者の妻として夫の遺志を繼げる鶴田縫子夫人 四ノ四七、四八
割烹を習ふに忙しい男學生 四ノ四九
工女達の寄宿舍拜見 四ノ五〇
其の足下には草が生えぬと稱へらるゝ門野夫人里代子の方 五ノ一
ヴェルサイユにやがて咲く名花 同
正月の夕の學生招待會 五ノ二
流離のアイヌ女が語る面白い習俗 五ノ三
埋もるゝ才能もかくて花咲く 五ノ四
女學生一團のスキー練習 同
世にも不幸な癩患者を救ふ爲婦人の同情會起らん 五ノ五
近く來朝するルート夫人 五ノ八
話にもない貧に陷つた家族 五ノ九
留守居する西園寺侯の令孫方 五ノ十
危い結婚から一人の娘を救つた牧師夫人の義擧 五ノ十二
父なき家にも今日の喜び 五ノ十三
同窓聯合會の最初の試み 五ノ十四
一錢銅貨の禁止め 同
出立に先立ちし蘆花氏の謎の手紙 五ノ十五
海外殖民學校に學ぶ二人の女生 五ノ十六
文部省主催の災害防止展覽會 五ノ十八
女子英學塾ハ寮監となつた故元良博士夫人よね子刀自 五ノ十九
亡き無名詩人の妻の發奮 五ノ廿
不思議にも酒嫌ひの揃ふた野川遞相の一族 五ノ廿一
五代續いた小學校長 五ノ廿三
實際家の見たる婦人勞働問題 ▲女工と共の四年有半(高杉みゝ子) ▲犧牲的なる製糸工女の身の上(民子) 五ノ廿四
「ちやん／＼このお婆樣」を訪ふ 五ノ廿五
悲しき運命に泣く佳人 五ノ廿六
成業して歸る朝鮮の家族 五ノ廿七
禁酒後初めて靈の結婚をしたと告ぐる或る妻の手紙 同

□家庭の部

母の試みた性的教育(ガントレット恒子)▲野菜類の自然色を保つ法(手塚かね子) 四ノ四三
流行性感冒の蔓延を防ぐ用意(杉田鶴子)▲子供を主にした手輕な饗應(櫻井ちか子) 四ノ四四
一家の經濟は主婦次第(澤田斬雲)▲古メリヤスで作う子供の足袋(大妻コタカ)▲病中及病後の人の爲に(指原乙子) 四ノ四五
畸形兒は外部の支障から生れるのでない(吉岡彌生)▲夕餐の膳に(手塚かね子)▲下駄の鼻緒を容易に作る法(大妻コタカ) 四ノ四六
誌上父兄會(澤田斬雲)▲冬と女中(川口寧子)▲朝鮮米の砂を除る法(某朝鮮人)▲季節の總菜(指原乙子) 四ノ四七
小學教師への歲暮に就て(米野雅子、久布白落實子)▲温い料理(指原乙子) 四ノ四八
子供の自由と靜かな時間(吉賀銕子)▲クリスマスの家庭の晩餐に(川崎正子) 四ノ四九
男兒の教養に大切な二つの事(三角錫子)▲飽きない爲の代用食品(手塚かね子)▲正月の重詰(日本女子大學家政三年考案)▲福引のかず／＼ 四ノ五十
身を以て導いた昔の家庭教育(てい子)▲戰ひの境より愛の境に(齋藤ったの子)▲胃腸を丈夫にする室内運動(木内愛子)▲雜煮のあとに(指原乙子) 五ノ一
遠く我が子を遊學させて(ガントレット恒子)▲冷えない婦人用の下穿き(高木錚子)▲交際の手輕い献立(松宮しん子) 五ノ二
中流社會の生活難を救ふ道(出永澄子)▲朝の献立はパンにしたい(一婦より) 五ノ三
日本のお父さん(澤田斬雲)▲此頃の臺所にて(柳八重子)▲野菜料理(指原乙子) 五ノ四
惡性感冒の豫防と手當(淺井かう子)▲お茶の菓子と此の頃の總菜(櫻井ちか子) 五ノ五
おもちゃ繪と今の幼年畫雜誌(楢山保之助)▲寒い時に客を喜ばせる料理(久野峯) 五ノ六
若き妻の爲めに(某夫人)▲幸福な人に育てる道(倉橋惣三)▲節句の馳走(指原乙子) 五ノ七

二十八

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

先づ原價を知れ（瀨田新雲）▲子供の鉢卷き代用の帽子（高木錦子）▲春の日の三時の客に（手塚かれ子） 五ノ八
▲春の會席（久野鴻峯） 五ノ九
羞恥む癖（門田つや子）▲一品一菓（楢原乙子） 五ノ十
夫の心を讀む纖細な感情（つたの子）▲春の野の母と子供▲安價な麵麭と滋養飯（河口愛子） 五ノ十一
特に男兒に必要な性的教育（英國某牧師夫人）▲春の客膳（楢原乙子）
裁縫の骨は何處にあるか（江藤春代子） 五ノ十三
▲インキを床にこぼした時▲この頃の總菜 五ノ十四
社會的に主婦が働らく事（藤井かう子）▲家庭生活には發育素を滋へよ（田中芳子）▲青鳥肉の調理數種（玉子） 五ノ十五
電車は婦人の社會學校（瀨田新雲）▲煎茶を旨味しく進める法（石塚せん子）▲竹の子と豆の支那料理（楢原乙子） 五ノ十六
子供の束縛と自由と（倉橋惣三）▲神經衰弱を菜食で治した經驗（ガントレット恒子）▲端午祝煎茶式獻立（久野鴻峯）▲贈答品の哲理（瀨田新雲） 五ノ十七
子供の遊戯（倉橋惣三）▲火事に就ての家族の心得（新谷信子）
私は何故子供を學校にやるのだらう？（新雲） 五ノ十八
▲子供の個性（倉橋惣三）▲小丼物（手塚かれ子） 五ノ十九
肥大の祕骨宣傳（瀨田新雲）▲市場への往復に（佐久千代子）
▲季節の料理（楢原乙子） 五ノ二十
怠り過されて居る離乳期（藤井かう子）▲好評を受けた當季惣菜（一主婦） 五ノ廿一
これから多い狂犬病▲梅雨の頃に注意すべきこと▲蠅の退治は今が好時機▲魚の季節料理（川崎正子） 五ノ廿三
衣服の害虫とその豫防法（きん子）▲夏の飲み物（手塚かれ子） 五ノ廿四
女中難をかうして逃れて居る（廣川たみ子）▲蚊と蚤の退治に就て▲茄子と南瓜の變つた調理法（本間きん子） 五ノ廿五
▲季節の料理（藤井久子） 五ノ廿六
親自身を與へて教育せよ（倉橋惣三）▲粉末鷄卵を使つた經驗とその料理（手塚かれ子） 五ノ廿七

□雜の部

婦人週報の三周年を祝して（白井龜鉾） 四ノ四三
逝ける高津久子樣（三四子） 四ノ四五
野獸と性慾 四ノ四六
フエノロサに見出された奈良 四ノ四七
（佐久千代子）
文豪の逸話（佐久千代子） 四ノ四八
露國革命の母ブレスコフス カヤ女史と語る 同
久野さんの獨奏を聽く（エム子） 四ノ四九
美しい由來を持つ愛國小舍 四ノ九、五十
酒といふ妖魔（瀨田新雲） 四五ノ一
古典的な春日のおん祭り（佐久千代子） 五ノ一
最も進んで居る英國の盲教育 五ノ三
廣岡淺子刀自略歴 同
廣岡刀自の「一週一信」を讀みて（木内てい子） 五ノ四
舊都の正月（佐久千代子） 同
悲壯なる告別式 五ノ五
南洋の家より（高月千代子） 五ノ八
成瀨校長弔問記 五ノ九
成瀨仁藏氏略歴 同
一疊敷きの書齋（瀨田新雲） 同
「妻も知り得ざりし夫の不品行」を讀んで 五ノ十三
日本女子大學校の新校長就任式 五ノ十四
玄人の東京見物（瀨田新雲） 同
犬に蒙つた災難（三四子） 五ノ廿一
排日の上海から（一愛讀者） 五ノ廿四
改築落成した東京至誠病院 五ノ廿六
田舍物語（廣田花崖） 同

□文藝の部

一輪挿（茅野雅子） 四ノ四三、四四
愛（木内錠子） 四ノ四三—五十
椿の落ちる音（權藤誠子） 五ノ一、二
黑と赤の薔薇（K子） 五ノ三、四
勝利 阪本みちゑ子 五ノ五—廿
暗綠の城（大橋房子） 五ノ廿一—廿三
路傍（茅野雅子） 五ノ廿三、廿四
北國の海より（松平操子） 五ノ廿五—廿七

短歌

聖誕を祝して（錦織くら子） 四ノ五十
若葉のなやみ（榊原百合子） 五ノ廿五

オハナシ

アリスの冒險（加古悠子） 四ノ四三—五ノ十二
鳥が島（杉谷すが子） 五ノ十四—廿
森の奥（つたの子） 五ノ廿一—廿五
情の王樣（安中花子） 五ノ廿六、廿七

□讀者小論

打寛ぐといふ事（河野花野）▲旅行服（す夫人） 五ノ十八
書架の書物（多田春江）坊ちやんの東洋豪傑風 佐藤孝子 五ノ十九
兒童の自學自修（黑崎悦子）▲「御返し」就（花形むつ子） 五ノ廿
獨歩の酒中日記に現はれたる妻政子の犧牲（欽子） 五ノ廿三
師弟の情誼（大村 代子）▲日頃の感謝を 秋山やす子 五ノ廿四
初夏の但馬より（高島 こう子） 五ノ廿五

□其の他時事、挿繪、子供の智慧、讀者から、編輯室から等

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

喜谷實母散

萬の藏より子は寶！

「身体を强健にしたいこと
可愛い子供が欲しいこと」
神様に祈願を込めるより

先づ第一に
喜谷の實母散を
御試し下さい、忽ち希が叶ふて御
家庭の平和は永久に保障されます

定價表		送料
試用分	金拾錢	二錢
本法實母散壹貼	金拾五錢	二錢
同参貼	金四拾五錢	二錢
同五貼	金七拾錢	二錢
同七貼	金九拾五錢	四錢
同拾四貼	金壹圓八拾五錢	六錢
同一月分	金四圓	八錢

▲御求めの際は喜谷實母散と御指名を乞ふ

主治効能

子宮病、下腹痛み、逆上頭痛、血の道
足腰冷込、難産流産、白帯赤帯、氣ふさぎ
月經不順、こしけ、産前産後、經閉腹痛

本舗 喜谷市郎右衛門
東京市京橋區中橋大鋸町
電話京橋 五五番 五六番
振替口座 二一五四番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

しみぬき液！

御召物に汚點（しみ）が出來ました時は何卒一度御試驗して見て下さい。
洋服レーンコート等、毛織物一切
和服絹物に最も好く、後で水洗ひする必要なく完全にしみが拔けます。

壹瓶（百グラム入）金六十錢

定價

試驗用見本 **無代進呈**

（見本入用の御方は送料として郵劵十錢封入御申込あらば見本瓶進呈す）

東京市外下戸塚町四六〇

富士洋行藥品部

電話東京三一五九五番

富士印 家庭用

アイスクリーム製造

苦熱から逃れたいと

此の叫びが響いた時

すが〳〵しい涼味を

手輕に得られる

本器を御常備あれ

（製法進呈）

東京 淺草橋際

阿部彥商店

電下谷一九二三（三二四八）

生徒募集 和洋服裁縫及刺繡ミシン專修

滿員の時は申込順にて翌月入學を許す

夏期講習希望者のため別組を設けて教授す

（規則進呈）

麴町區有樂町一ノ五

シンガー裁縫院

電話本局五二六九

登録商標

ネッスル印

植物ミルク・フード

牛乳や玉子に優る經濟的な新食物、風味も快く手輕に用ひられるミルク・フード

●牛乳にまさる

植物性ミルク・フードに植物性の乳粉しお湯さへあれば直ぐできます。衛生試驗所の分析で牛乳よりも滋養分のあることは明白、しかも値段は牛乳が一合五錢ならばこれは二錢に當る臭氣もなくどんな牛乳嫌の人にでも好まれます。

●産婦や病人に

植物ミルク・フードをお勸めします皇后陛下や宮家の御用を承る産婆の岩崎直子さんも産婦にすゝめてをられます胃腸病者に効のあることは著しくことに肺病患者の滋養料として此上なく高田博士の南湖院では始終用ひてをられます。

●來客に用ひて

植物ミルク・フードはお茶やコーヒーの代りとなります淡い甘味の何とも言へぬ味。ある美食家はフライの材料に玉子の代りに用ひてかへつて美味しい料理が安くできたと喜ばれました。お菓子の代りとしてもよろしいでせう。

定價 罐入卅四分 八拾錢
郵税 一個 拾貳錢

見本入用の方は郵劵十錢封入申込まれたし

市内送達無料

各地著名の藥舗食料品店にて販賣す

製造元

東京市麴町區内幸町一丁目六番地

榮進舍

電話新橋一二七番

振替東京三五〇九〇番

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察毎朝及毎夕 但祭日及日曜の他
院長診察月木金午前及木午後六時
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
東京麴町區三番町卅番地（市ケ谷見附內）
電話番町 六二五一番 六二六番

東洋內科醫院

院長 醫學博士 高田畊安

電話ちがさき二番

南湖院

神奈川縣茅ヶ崎海濱（從停車塲中里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後、入院診後應需
診察毎日午後 但祭日及日曜の他

耳鼻咽喉科專門

大野醫院

（入院隨時）

院長 耳鼻咽喉科 大野喜伊次

東京京橋區新肴町二番地
電話京橋一〇三五

◎產婦人科◎小兒科

宅診午前 往診午後

病室、產室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ

院長 女醫 吉岡彌生

東京市麴町區飯田町四丁目卅一番地

電話番町{二二五七 五五一〇}

東京至誠病院

◎內科◎小兒科

宅診午前 往診午後

藤井診療所

藤井かう子

本郷區彌生町二番地八ノ三十三號
（電車高等學校前下車）
電話新設小石川三五三一

產婦人科 小兒科

午前宅診
午後往診

井出醫院

內藤新宿番衆町三十一
電話番町三六七七

女醫井出改 竹內茂代

松下皮膚科醫院

○診察、午前、夜間

○京橋南八丁堀櫻橋際
（電京一二三一番）

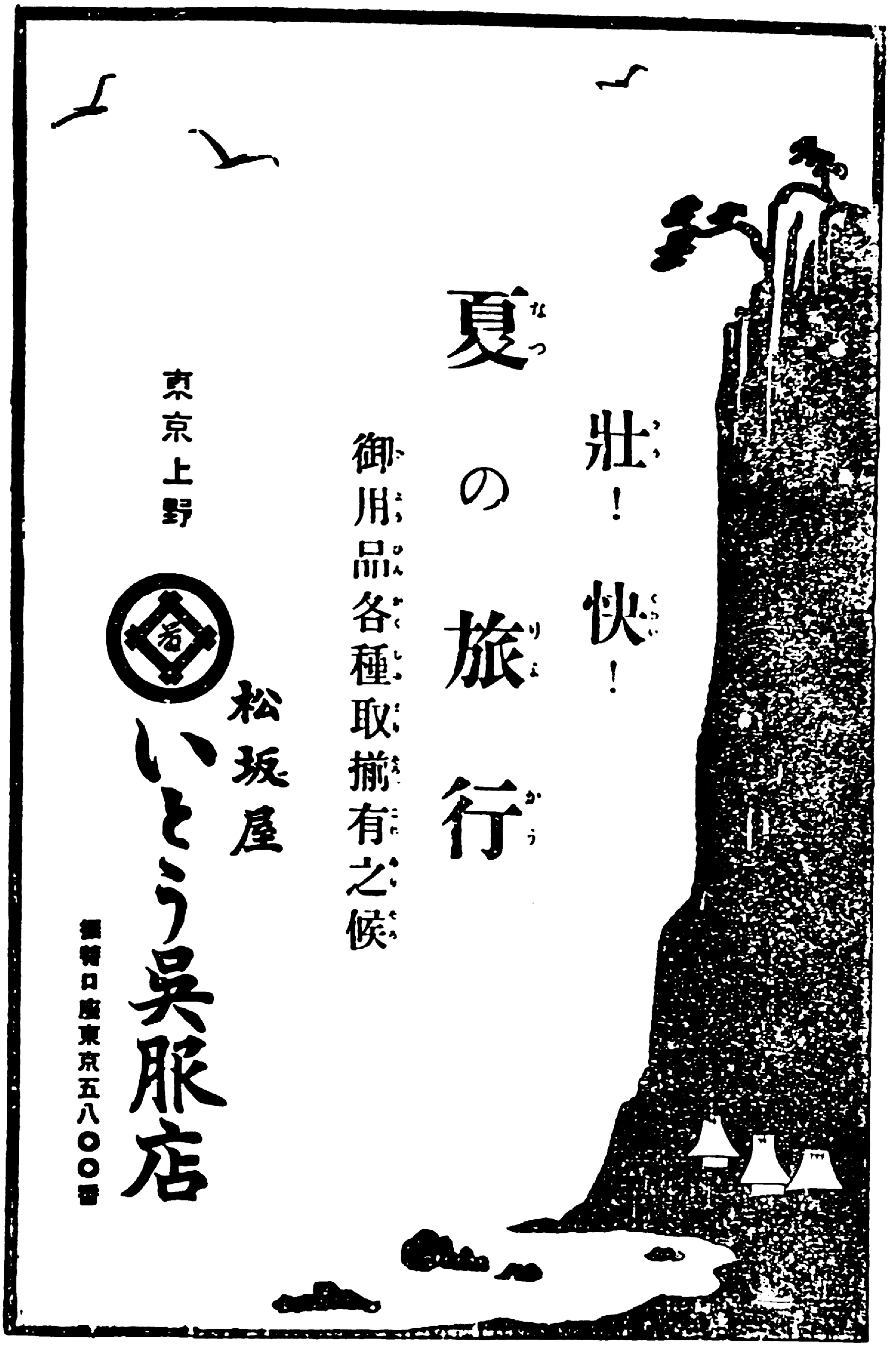
家庭衞生講習會

一、目的　家庭に必要なる衞生及衞生マッサージを教授す。
一、場所　赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部內。
一、期間　自毎月十六日至翌月十五日一週二日午後二時より四時迄。
一、講習科　金十圓也前納の事。
一、人員　十名を以て定員とす、（希望者五名以上に達すれば開始す）
一、證書　講習修了者には修了證書を交付す。
一、特典　講習修了者は會員として隨意に傍聽又は研究する事を得。
一、主催　婦人矯風會本部。
一、講習主任　醫師藤井孝。

右御希望の方は至急赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部（電話芝一じ五三）に申込まれたし。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御注文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞



Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

發行所
東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社

御料
御園白粉

御園白粉及御園化粧品は畏くも御料に召させ給ふ本邦唯一完全優良なる化粧料にして最新の科學に依り原料と芳香を精選し皮膚の衛生と美容の目的に適ふ配合を以てし冗費を省き包装を飾らず實質を本位とする化粧品なり。

御園白粉は純無鉛製にして殺菌消毒を施したれば安全なるは勿論永久の保存と氣候の變遷に堪へ効能に變化なく濃淡自在乗りよく伸びよく斑點を生ぜず生れ乍らの美さを現す此化粧品界に其比を見ざる白粉中の模範品なり。

御園白粉
御園の月
御園の花
御園振子
御園紙白粉
御園四季の花
御園の露
御園の蕾
御園クレーム
御園香精
御園の橘
御園香油
御園齒磨
御園ルチゲン

本舗 伊東胡蝶園　發賣元 丸見屋商店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA